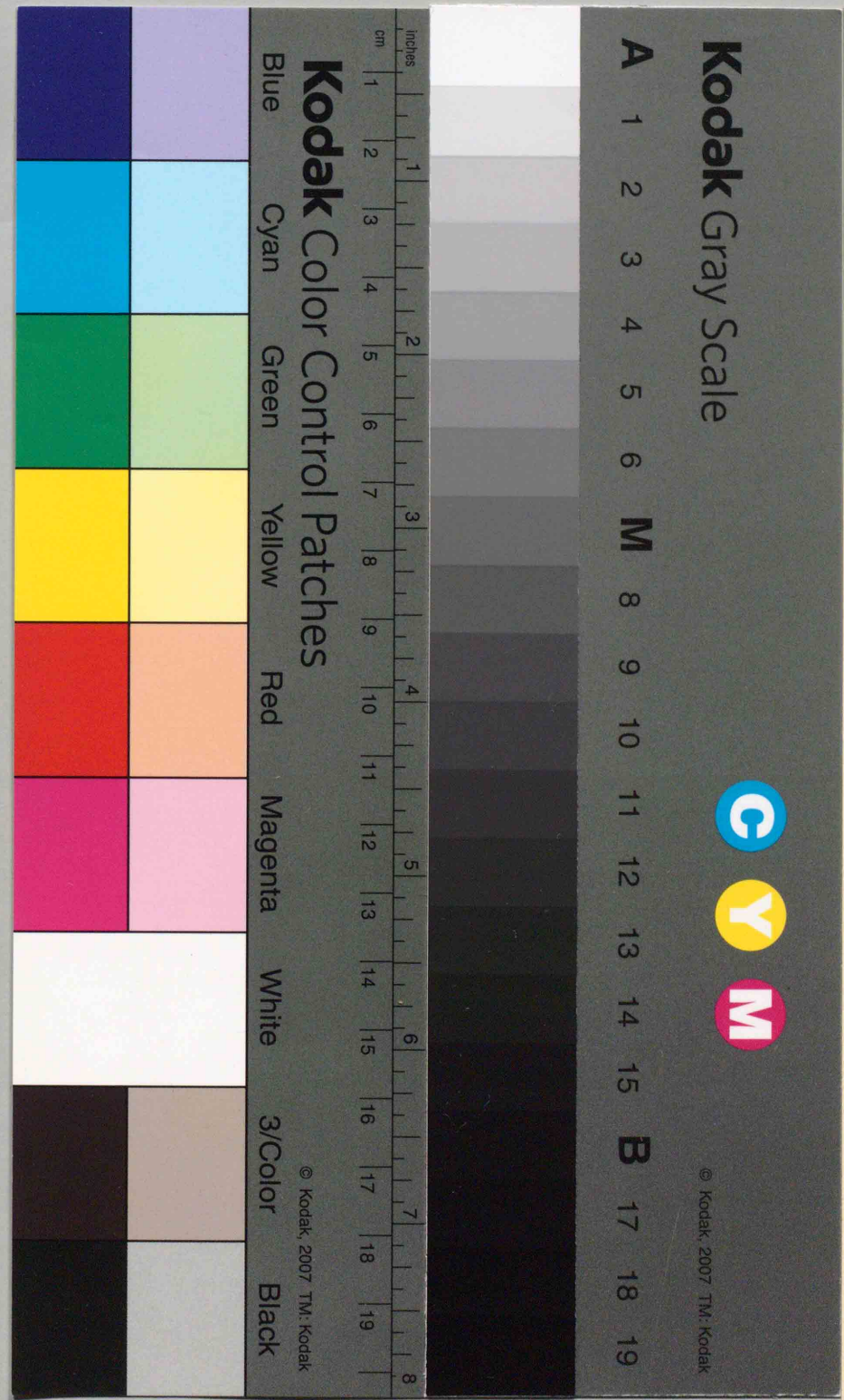


高等科地理 上
文部省

教科書文庫
4
290
32-1944
2000030343



42777

教科書文庫

4.
290
32-1944
20000
20343

32-1944



資料室

375.9
Mo14

教科書文庫

4

290

32-1944

2000030343

高等科地理 上

文部省

広島大学図書

2000030343



廣島大學
圖書印



目録

北アメリカ	一
（一）アメリカ合衆國（米國）	四
カナダ	二十五
メキシコ	三十一
（二）中央アメリカ及び西インド諸島	三十四
（三）南アメリカ	三十七
（一）アンデス諸國	四十
（二）アルゼンチンとその他	四十六
（三）ブラジルとその他	四十八
（四）わが國と南アメリカ	五十二
三 ヨーロッパ	五十四
（一）ロシヤ（ソビエト聯邦）	六十四

（二）北歐諸國（スウェーデン・ノルウェー・フィンランド）	六十九
（三）ドイツ	七十二
（四）ドイツをめぐる中歐諸國	七十九
（五）イギリス（英國）	八十六
（六）フランス	九十五
（七）イスパニヤ・ポルトガル	九十八
（八）イタリヤ	百一
（九）バルカン諸國	百五
四 アフリカ	百八
（一）スエズ運河・エジプト	百十一
（二）東アフリカ	百十五
（三）南アフリカ	百十七
（四）コンゴ盆地とギネヤ灣岸	百十九
（五）サハラ沙漠・バーバリ地方	百二十

目録

二

(六) わが國とアフリカ……………百二十二

五 大西洋兩極地方……………百二十五

(一) 大西洋……………百二十五

(二) 兩極地方……………百二十八

一 北アメリカ



わが帝國の前面にひろがる太平洋の大海原（おほうみ）を東に越えると、北アメリカの大陸がある。この大陸は北に廣く南にせばまり、南端はパナマ地峽（ぢせき）によつて僅かに南アメリカの大陸に續いてゐる。

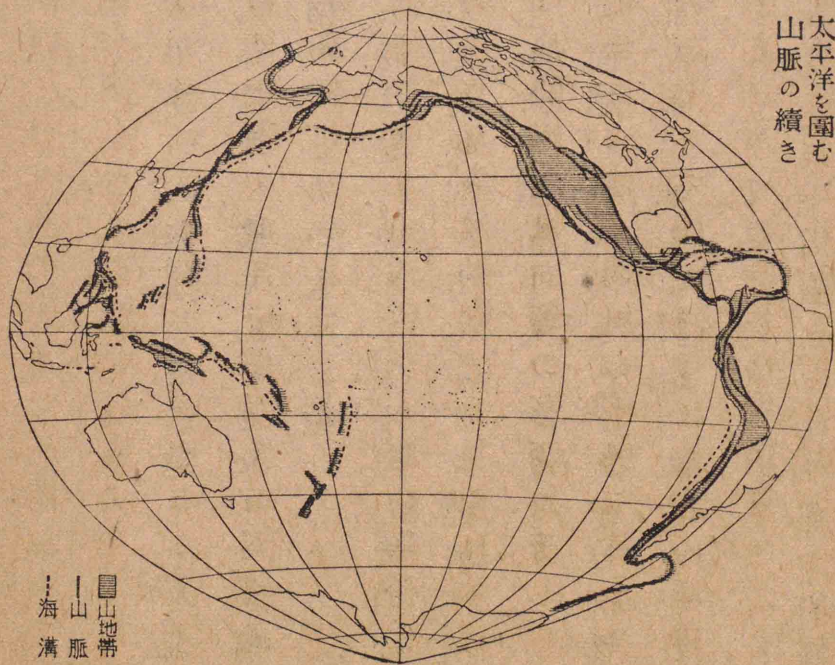
北アメリカ・南アメリカの二大陸は縦に並んで、太平洋と大西洋の兩洋を西と東に隔ててゐるので、地峽部にあるパナマ運河は、兩洋の連絡路として、軍事上、交通上、大きな價值をもつてゐる。

北アメリカは南アメリカより面積がやゝ大きい、地勢は大體兩者似通（に）つてゐて、西部高地、東部高地、中部大平野の三區に分たれる。

北アメリカの西部高地は、雄大なロッキー山脈と、これに並ぶ數條

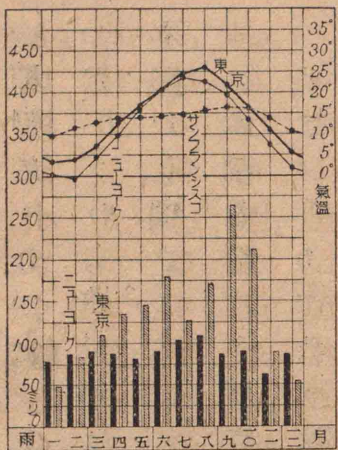
の山脈とから成り、その間に大きな盆地や高原が包まれている。東部高地はアパラチャ山脈の地帯で、西部高地に比べると規模が小さく、峻しくなく、高原状のところが多い。この兩高地の間にある中部の大平野は、北は北極海岸から南はメキシコ灣に達し、五大湖やミシシッピ川もその中に含まれてゐる。

太平洋を圍む山脈の續き



山脈
海溝

り、中でもグリーンランドは世界第一の大島である。北西部のアラスカに續いて、アリューシャン列島がアジャヤとの間に飛石のやうに連なり、その内側にベーリング海を抱いてゐる。又、南部のカリブ



海方面には、熱帯の海洋中に西インド諸島の島々が散在してゐる。

この大陸には、北の寒帯から南の熱帯に至る間の大きな氣候的變化が見られるほかに、なほ地勢、海流、風向等の影響が著しく

あらはれてゐる。太平洋岸の北部は、暖流や西風の影響で、緯度の割合に溫和で、雨が多い。これに反して、寒流に洗はれる大西洋岸の北部は、太平洋岸よりも寒冷であるが、その南部は貿易風のために、雨が多く、溫暖である。

大陸内部は、大陸性氣候の特色を示して、寒暑の差が甚だしく、西部高地方面は、一般に雨が少く、沙漠となつてゐるところもある。

アメリカ大陸には、コロンブスの航海以來、ヨーロッパ諸國から渡航するものが相ついで至り、やがて兩大陸は一時、殆どこれら諸國の植民地となつた。その後、土地の開拓が進み、移住者も益々多くなつた。これら植民地は、北アメリカに於けるイギリスの植民地が本國から獨立してアメリカ合衆國を打ち建てたのを手始めに、次々に本國を離れて獨立國となつて行つた。

北アメリカではアメリカ合衆國を中心に、その北にイギリスの自治植民地カナダと、合衆國領のアラスカがあり、南にメキシコ及び中米諸國があり、その東の西インド諸島に、キューバその他がある。

(一) アメリカ合衆國(米國)

今から約百六十年前に獨立したアメリカ合衆國は、初め大西洋の沿岸地方を占めるに過ぎなかつた領域を西へひろげて、廣大な中央の大平野を取り込み、更にロッキー山脈を越えて遂に太平洋岸に達した。かくて北米大陸の胴體部を東西に横ぎり、太平洋・大西洋の兩岸に面するに至つた合衆國は、面積に於いてわが國の十一倍餘、人口約一億三千萬を數へることになつた。

兩洋に面する國　アメリカ合衆國が北米大陸の胴體を占めて、太平洋・大西洋の兩洋に面してゐることは、大いに注目すべき點である。

合衆國にとつて、その東西の二大海洋が國を守る上に、非常に役立つてゐることは、この國の歴史がよくこれを物語つてゐる。ヨーロッパの多くの國々が屢々戦争の巷となつた際にも、合衆國は殆ど

超然としてゐることができたし、又アジアの動亂に對しても同様で、東西の海洋がこの國を守る上に大いに役立つたことは事實である。

一方文化の發達に伴ひ、海洋は交通の大道として、いよく利用される。北米殊に合衆國は、大西洋を隔てたヨーロッパの對岸として交通貿易が年々に榮え、随つてヨーロッパの文化や富は潮の如くこの國へ流れ込んだ。その間、イギリス人を始め、ヨーロッパ諸國からの移住者も續々渡來し、ヨーロッパ人との關係はいよく密接となつた。しかも、かく大西洋の價値が自國にとつて増大するにつれ、合衆國はこの海に對する支配力を強化することにとめた。そればかりか、海上交通の發達は、やがて太平洋の重要性を高め、特に第一次歐洲大戰を境に、太平洋は世界的活動の本舞臺として大

きく浮かび出たのであるが、それにはこの大洋の西岸にあるわが帝國の興隆と、その眞東に相對する合衆國の繁榮が、大きな原因として存在するのである。

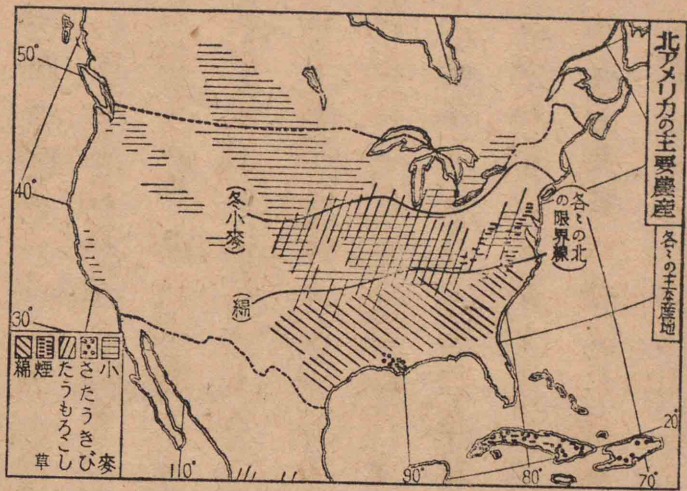
この國が、ばくだいな費用をかけてパナマ運河を切り開いたのは、太平洋を重視して、これと大西洋との連絡をはかつたのであり、大陸横斷鐵道を幾本も敷設したのも同じ意圖からである。しかも太平洋を自國の海と化し、東亞の利權をわがものにしようとすゝる野望を逞しくするに至つて、こゝに大東亞戰爭の因由がはらまれるに至つたのである。

地上資源 世界第一の長流であるミシシッピ川の流域には、北の五大湖沿岸から南のメキシコ灣岸に至る廣大な平野が連なつてゐる。それは、東の方アパラチャ山脈の麓に達し、西は次第に土地

が高まつて、ロッキー山麓にひろがる乾燥した草原地帯に移つて行つてゐる。

この中部の大平野は、土地が肥え、氣候も農業に適するため、この國の主な農耕地を成してをり、それに伴つて牧畜も盛んである。

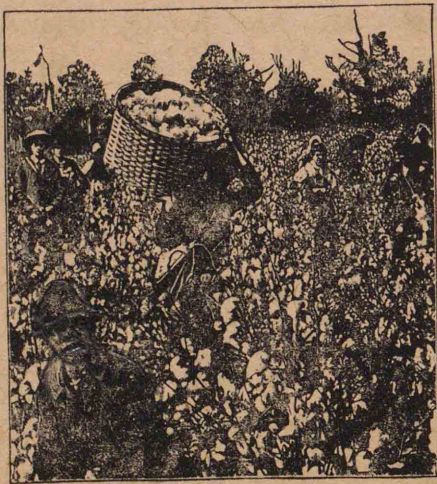
この地方の氣候は大體温帯性であるが、北部の五大湖附近は冷涼で、冬は湖水も凍るほどである。夏は北部から中部へかけて、往々暑氣がはげしく、海に遠いために、大陸性氣候の特色をよくあらはしてゐる。南部のメキシコ灣岸は、温暖である。雨量はメキシコ



灣岸に多く、内部へ行くに従つて少くなり、殊にロッキー山脈の東麓地帯は乾燥してゐる。

かうした氣温や雨量の關係で、北から南へとそれ／＼農作物の地帯が區別され、北部から中部へかけては小麦、中部はとうもろこし、煙草、南部は綿の栽培地帯となつてゐる。メキシコ灣岸には、さとうきびや米も作られる。小麦、とうもろこし、煙草、綿等は、いづれも世界屈指の産額をもち、見渡すかぎり平坦な農場には、盛んに機械力を使つて、大規模な農法が營まれてゐる。

農場にまじつて廣い牧場も各地に見られる。とうもろこし地



綿の收穫

帯を中心として、特に豚や牛が多く分布してゐるのは、たうもろこし
がその飼料となるからである。又、馬も農耕地一帯に分布して
ゐるが、羊は國の西半部の乾燥地に廣く分布してゐるほか、中部の
平野にも少くない。

これら牛・豚・羊・馬等の家畜の頭数は、いづれも世界有數で、牧畜業
の盛大であることを物語つてゐる。これに伴なつて乳製品や、肉
類の生産に對するいろ／＼な設備も發達してゐる。

かやうに、農牧業はこの國の富力の基礎をなすものであり、廣大
な土地と、大規模な經營とによつて、よく大量の生産をあげてゐる
のである。

地圖を見てもわかるやうに、米國では、大體西經百度の經線を境
として、それ以東の地域は以西とちがひ、鐵道が網の目のやうに發

達してゐる。これは一つには、その地域に於ける農牧の産物を輸



送する必要があるから
であり、ミシシッピ川の水
運もまた、そのために大
いに役立つてゐる。
シカゴやセントルイ
スなど、平野の主な都市
は、いづれも農産物・畜産
物の集散地であり、又そ
れらの産物を原料とす
る工業も盛んである。
中でもシカゴは、中部大

平野の開発に伴なひ、急速に發達したところで、今では人口約三百四十萬、ニューヨークに次ぐこの國第二の大都市である。小麦その他穀物の大市場であり、製粉業も盛んに行なはれる。又、多數の牛や豚がこゝに集められ、大量の肉の罐詰が造り出される。メキシコ灣岸のニューオルリヤンスや、ガルベストンは、綿の輸出港として知られてゐる。

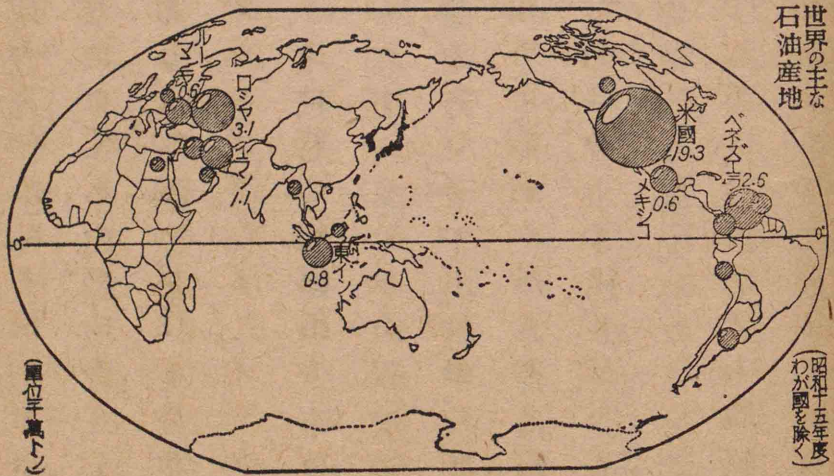
ロッキー山脈地帯から西の方、カスケード・シエラネバダ山脈に至る間は、廣い高原盆地の乾燥地帯で、羊や山羊の飼育が廣く行なはれてゐる。農業は、灌漑によつて部分的に營まれてゐるに過ぎない。

太平洋沿岸の氣候温暖なカリフォルニア地方は、合衆國でも農耕地としてよく開けたところである。夏、雨がまれて冬降るといつ

たこの地の氣候は、ぶどう・オレンジ・桃・梨等の果樹の栽培に適し、到るところ廣大な果樹園があり、又、いろいろな蔬菜類も作られる。雨が少いので山から水を引いたり、掘抜井戸を作るなど、灌漑作業が發達してゐる。この地方に於ける農園の開拓及び發達には、わが國の移住民の力に負ふところが大きいのである。

地下資源　米國は地下資源にも恵まれ、各種の重要鑛産物を大量に産出する。石炭・石油・鐵・銅・鉛・亜鉛・アルミニウム・金・銀等がその主なものである。

世界の主な石油産地



(昭和十五年度わが國を除く)

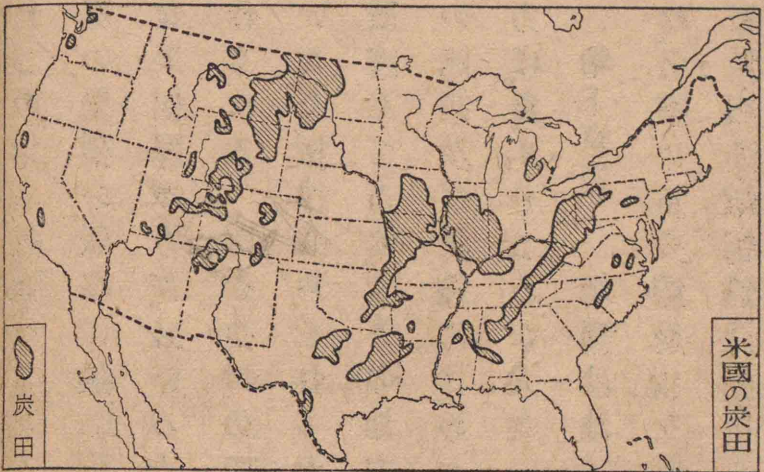
(單位千萬トン)

石炭は、アパラチヤ山脈を中心とした地方及び中部大平野が主

産地であるが、なほロッキー山脈地方にも各地に炭田があり、太平洋沿岸にも分布してゐる。

石炭の分布と比較して油田の分布を見ると、これもまたアパラチヤ山脈地帯中部大平野の諸地方、ロッキー山脈中及び太平洋沿岸のカリフォルニア地方等において、炭田の分布と一致する部分が少くない。又、油田地帯には、屢天然ガスを伴なつてゐる。

鐵鑛は、スベリオル湖附近が主産地で



米國の炭田

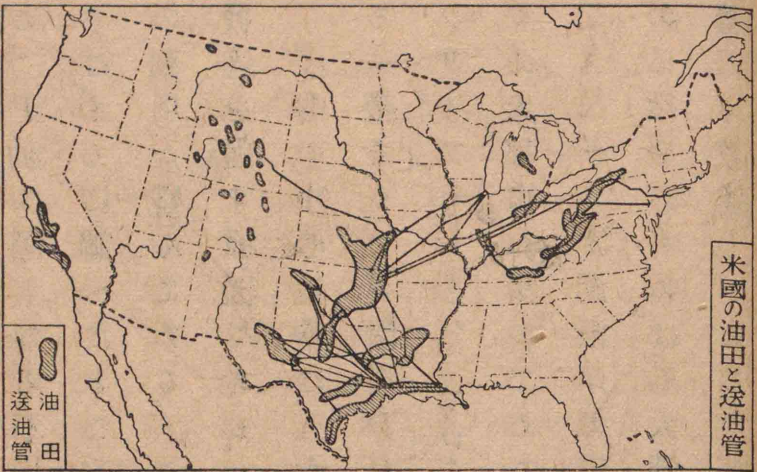
炭田

達を見るのは、一體どんな原因によるのであらうか。

あるが、なほアパラチヤ山脈地方や、西部山地などにも産し、銅その他各種の金屬鑛物は、主として西部山地に多く産する。しかし、このやうに地上資源、地下資源の豊富な米國も、すべての重要資源が自給自足されるわけではなく、従來主として大東亞から補給されてゐたゴム、錫、キナ等の重要なものも少くなかつたことを注意しなければならない。

工業の發達 米國は世界一流の工業

國であるが、この國にかうした工業の發



米國の油田と送油管

油田
送油管

先づ工業原料となる地上資源、及び地下資源が極めて豊かであること、動力源となる石炭・石油・天然ガス等の産出が非常に多いことは、すでに調べたところであるが、更に他の動力源としての水力の利用が盛んである。これらは交通の便と相まつて、各種工業の發達を促す原因である。

工業の中心地帯は、五大湖の南岸附近から東の方、大西洋岸に至る一帯で、シカゴ附近からニューヨーク附近に至る間に、デトロイト・クリーブランド・バッファロー・ピッツバーグ・ボルチモア・フィラデルフィヤ等、多くの大都市が集つてゐる。

スベリオル湖沿岸の鐵鑛が、石炭の豊富なこの地帯へ送られるのに役立つものは、五大湖の水運であり、五大湖に連なる運河網も著しく發達してゐる。湖岸に多くの都市があるのは、主として湖

上の水運によつて發達したものである。

工業地帯の諸都市では、いづれも各種の工業が行なはれる。中でもピッツバーグの製鐵、デトロイトの自動車製造は有名であるが、戦時下の今日では、これらの工業都市が、いづれも軍需品の製造に主力を注いでゐることを忘れてはならない。

かうした多くの工業都市を含むこの地帯は、人口の密度が國內で最も高く、あらゆる活動の中心地であり、米國の中樞地區をなしてゐる。さうして、この中樞地區の關門として、米國第一の大都市ニューヨークがある。人口約七百四十萬、世界的大貿易港で、各大陸へ航路を通じてゐるが、殊にヨーロッパの諸港との交通が頻繁である。商工業の大中心地であることはいふまでもない。大規模な港灣を控へ、高層建築の林立するニューヨークの市街こそ、アメリカ

文化を代表するものである。

ニューヨークの南西にあるフィラデルフィヤは、人口約二百萬、ニューヨークと共に大西洋岸の良港であり、又、商工業が盛んである。その南西にある首府ワシントンは、特に政治都市として建設されたものである。ニューヨークの北東にあるボストンも、この方面の良港で、商工業が榮え、又、學術の中心地となつてゐる。

これらの東部及び中部の諸都市に對して、西部は割合、都市も少いが、そのうちロスアンゼルスは太平洋岸南部の一大商工都市として、急速な發展を遂げてゐる。又、サンフランシスコは農業の盛んなカリフォルニヤの谷を控へた西岸有数の貿易港で、北部の良港シヤトルと共に、大東亞方面との交通の要路に當つてゐる。

この國は鐵道の發達によつて諸都市間の連絡が便利である上、自動車の利用が特に盛んで、廣く一般に普及してゐる。又、航空路は國內の主な都市を連ねてゐるばかりでなく、遠く他大陸へも通じてゐる。

移民の國　米國現在の人口は、一億三千萬をこえてゐるが、國土が廣大であるため、東部地方を除けば、なほ人口は非常に稀薄である。

前にも述べたやうに、米國はイギリスから渡來したアングロサクソン人が中堅となつて打ち建てた國で、その歴史はまだ二百年にもみたない。しかもその間、ヨーロッパ各國からの移民が押し寄せ、人口は急速に増加して行つた。最も多いイギリス系の子孫を始め、ドイツ、イタリア、フランスその他、ヨーロッパの各民族が集つてゐる。又この國にユダヤ人の多いことは注意すべきである。

わが國や支那からの移住者は、太平洋沿岸に多く住んでゐる。わが國人は約十二萬を數へるが、近年米國はその渡航禁止を敢へてするに至つた。

インディアン



このほかにインディアンがあり、黒人がある。インディアンはこの大陸の原住民であるが、今ではその數も少く、主として西部地方に住んでゐる。黒人は、こゝに植民したヨーロッパ人が土地開拓の必要上、アフリカから移したもので、今日では米國總人口の約一割を占めてゐる。元來、南部諸州に於ける勞働者として、特に綿栽培のために使役されたのであるが、今では中部、北部に住んでゐるもの

も少くない。

このやうに多くの民族が流れ込んで來た米國は、民族の坩堝とさへ呼ばれるほどで、アングロサクソン系が主體となつてゐるとはいへ、異民族の寄合所帶の觀があり、かれこれ混血してゐるものが多い。これがアメリカ大陸といふヨーロッパとはちがつた土地の影響を受けてゐるのであるから、自然祖國のイギリス人ともちがつた性格をもつてゐる。一般に活動的で、冒險心に富んでをり、實利的、物質的な考へ方が強いので、何事も先づ實際的方面から判斷して、積極的に進めて行く實行力がある。その代り靜かな落ちつきや、内に省みる反省力に缺けてをり、わがまゝで自負心が強く、あらゆることに世界一を誇らうとするくせがある。随つて、國際問題などに關しては、常に自國本位の立場から離れず、あくまでも

横車を押し通して、他國の迷惑を顧みようとしない。屢、自由を唱へ、博愛人道を説きながら、その自由は結局自分本位の自由であり、博愛人道もまた異人種には適用されず、特に有色人種を排斥し、迫害して平氣である。そこにかれらの思ひあがつたわがま、があり、我欲に根ざす増長があるのである。

米國の野望

米國は、アラスカその他の領土を除いた本土だけでもわが國の十一倍以上の廣大な面積を有し、その豊かな資源と人的要素とが結びついて、この國の富強の基を築いてゐるのであるが、その富強をほし、にすることに従つて、やがて世界に對する野心をあらはすに至つた。

即ち地理的位置の關係から、先づアメリカの諸國に自國の勢力を扶植することを怠らず、隨つてこれら諸國の中には、全くこの國

の保護國又は屬國化したものが少くない。又、太平洋上のハワイ、フィリピン等の島々を領有するに及んで、東亞に對する野望は次第に積極的となつて行つた。殊に第一次歐洲大戰によつてヨーロッパ諸國が疲弊したのに乘じ、米國はいよゝゝその富と權力とを世界に誇示するやうになり、從來世界をわがもの顔にふるまつて來た英國すら、事ごとに米國の意を迎へるやうになつた。

かくて米國は英國と結んで東亞侵略の魔手をひろげ、滿洲・支那・南方諸地方、その他に對する利權の獲得、勢力の扶植につとめた。米國の太平洋制覇を目ざすあらゆる工作が、この東亞侵略と結びついてゐることはいふまでもない。

東と西から東亞に魔手をのばして行つた米英に對して、獨り毅然として對抗したわが國を、米英はあらゆる手段に訴へて屈服さ

せようとした。これに對しわが國は、自存自衛のため敢然として立ち、道義に基づく新しい秩序を、東亞の天地に打ち立てる決意を示した。大東亞戦争はかくて起つたのである。

アラスカ 北米大陸の北西部にあるアラスカは、かつて米國がロシアから買収したところで、面積はわが國の二倍以上もあるが、寒さが強く、土地が開けないので、住民は七萬餘に過ぎない。川や沿海ではさけの漁獲が多く、ユーコン川の流域には金を産する。

アラスカはベーリング海峡を隔ててシベリヤに近接し、又カムチャッカ半島との間に、アリューシャン列島が連つてゐるので、米國の北方に於ける軍事的據點となつてゐるが、わが國にとつても國防上重視すべき地方であることに注意しなければならぬ。アリューシャン列島のダッチハーバーは、海軍の根據地として知られてゐる。

(二) カナダ

北米大陸の北部を占めるカナダは、イギリスの重要な自治植民地で、その面積はアメリカ合衆國よりも大きいが、人口は約一千一百万に過ぎない。

合衆國と同じく、東部高地・中部平野及び西部高地に分けられる。つまりカナダは、その地勢に於いて合衆國の北の延長である。その境界も、五大湖のほかは自然的なものがなく、随つてカナダと合衆國とは、經濟・交通・文化その他に於いて、本國イギリスよりも深い關係にあることは、注意すべきことである。

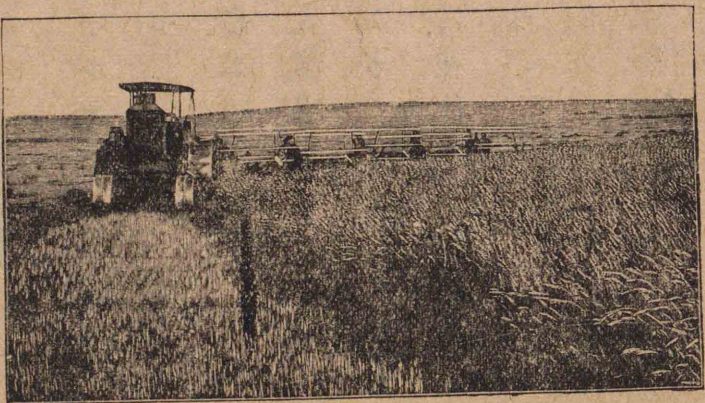
合衆國と類似した地勢でありながら、カナダが人口に於いて遙かに稀薄であるのは、なぜであらうか。

それには、何といつても氣候を最大の原因として擧げることが

できる。緯度が高く、主として北緯四十九度の緯線及び五大湖以北の地で、氣候は一般に寒冷であり、冬は河川も湖海も大抵氷結する。殊に北極海の沿岸や島々は、一年の大部分氷雪にとざされる不毛地である。内陸部は大陸性氣候の特色が著しく、雨量も少ない。たゞ暖流の影響を受ける太平洋沿岸は、やゝ溫和で、雨量が多い。かうした土地の位置から来る氣候の不利は、住民の居住や活動に大きな影響を與へてゐる。随つてカナダは、合衆國に近い南部ほど人口が多く、産業も盛んである。地圖に就いて、主な都市や鐵道の分布を見ても、このことがよくわかるであらう。

主な産業 合衆國から續いてゐる中部平野は、カナダの主な農業地である。夏、氣温が高いので、麥類・亞麻・甜菜等の栽培に適し、中でも小麥が多く、ウイニペグはその大集散地となつてゐる。さうし

小麥の刈取



てそこから、鐵道や五大湖の水運によつて東部へ送られ、モントリオールやニューヨークなどの諸港を経て、多量にヨーロッパへ輸出される。又、西方太平洋岸のバンクーバー港を経て、一部輸出されるものもある。これまでカナダが、小麥の輸出國として、世界の穀倉の役をつとめて來たのは、その産額に比して、國內の消費が少いからである。

東部及び西部の山地に分布する廣大な森林は、カナダの一大富源である。多量の木材を産し、それを原料とするパルプ製紙工業も發達してゐて、いづれもこの國の大切な輸出品となつてゐる。木

材のまゝで海外へ輸出されるものもあつて、わが國へも、これまでカナダの木材が少からず輸送されてゐた。

カナダには、世界産額の大部分を占めるニッケルを始め、金・銀・銅・鉛・亜鉛・アルミニウム等、いづれも多量の産額を示してゐる。その他石炭・石油なども産出し、鑛産物にはなかく、恵まれてゐる。

漁業も、カナダの主な産業である。世界的大漁場として有名なニューファンドランド島近海では、たらにしん等が多く取れ、太平洋側の川や沿海では、さけの漁獲が多い。この國に在住するわが國人中、太平洋沿岸の漁業に従事するものが少くない。

カナダの中心地東部地方　五大湖附近から、セントローレンス川の流域にわたる東部地方は、カナダで最も早く開けたところである。水陸の交通が便利であるので、商工業が興り、主な都市もこゝ

に集つてゐる。この地方は水力の利用が盛んであり、パルプ・製紙工業のほか、金屬の製錬や、製粉などの工業が發達してゐる。トロントは工業の中心地である。

セントローレンス川の河港モントリオールは、人口約九十萬、この國第一の大都市で、貿易が盛んである。殊に小麥の輸出港として知られてゐる。

セントローレンス川の一支流に臨むオタワは、この國の首府で、附近にはパルプ・製紙工業が榮えてゐる。

大陸横斷鐵道　東西に遠く隔たつたこの國の太平洋方面と大西洋方面とを連絡することは、單に交通・經濟の上からばかりでなく、國內の統一及び國防の上から非常に大切なことである。

東亞に對する門戶バンクーバーから、オタワ・モントリオールを

經て、セントジョンに至るものと、プリンスルパートから、ケベックを經て、ハリファクスに至るものと、この二條の大陸横斷鐵道が、かうした重要な役目をもつてゐる。しかもこの二大幹線は、沿線地方の發達に大きな影響を與へ、二線の交叉點にあるウイニペグを始め、沿線の所々に町や村を發達させた。幹線から分れた支線も多い。殊に南の合衆國との連絡がよいのは、兩國の關係の深いことを示すものである。

住民その他

イギリス人の子孫が最も多く、これに次ぐフランス人の子孫は、主としてセントローレンス川流域に住んでゐる。原住民のエスキモーは、北部に散在してゐるが、その數は少い。

わが國人の在住するものは約二萬で、主として太平洋沿岸のバンクーバーを中心とする地方に住み、種々の産業に従事して來た

が、合衆國と同じくカナダも、近年移住を禁止するに至つた。

カナダは、イギリスの重要な自治植民地であるが、今日では、殆ど獨立國に近い地位を保つてゐる。たゞ米・英及びカナダの三國が、民族の血による繋りをもつてゐることは、われ々の最も注意しなければならぬところである。

(三) メキシコ

メキシコは北米大陸の南部にあつて、大陸の幅の次第にせばまつて行く部分を占めてゐる。

高原の國

アメリカ合衆國の西部山地が、そのまゝ、南へ續いてゐるこの國は、土地の大部分が高原であり、低地はメキシコ灣岸にあるに過ぎない。高原には所々に火山が分布し、中には高く雪をいただいてそびえ立つものがある。

国土の大部分が高原であることは、この國の一大特色を成してゐる。地圖を見てもわかるやうに、この國は緯度からいふと、大體わが南九州から、ルソン島の南部にかけて間に當つてゐるから、大部分が亞熱帶及び熱帶の氣候であるはずであるが、土地が高いので、氣候は一般に溫和である。例へば首府メキシコは、標高約二千三百メートルの高所にあつて、殆ど年中、わが國の春或は秋のやうな氣候である。低地は暑く不健康地であるから、港のほかには都市は發達せず、主な都市は多く高原にある。

雨はメキシコ灣岸をのぞいて、高原一帯に少く、殊に北部は乾燥して、大部分沙漠状の土地となつてゐる。

農産物の主なものは、たうもろこし、煙草、コーヒー、綿、さたうさび等である。

この國第一の資源である鑛産物は、世界一の産額を示す銀を始め、石油、銅、鉛、亞鉛等、甚だ豊富であり、鑛産物が輸出の大部分を占めてゐる。たゞその採掘は、大抵米國人の資本によつて行なはれてゐる。

メキシコは面積に於いてわが國の約三倍であるが、人口は約二千萬で、人口密度は低い。もとイスパニヤの支配下にあつたところで、原住民のインディアンのほかは、イスパニヤ人の子孫、及びそれらの雜種が多く、言語、風習など、殆どイスパニヤと同じである。わが國からの移住民は約五千人で、農業や商業に従事してゐる。

約百二十年前、この國がイスパニヤから獨立した當時は、今よりずっと北の方まで領土がひろがつてゐて、現在の二倍に及んでゐた。その後、米國が次第に西方へ發展するにつれ、メキシコはこれ

に壓迫されて、遂に領土の半ばを割讓するに至つた。

米國が獨立以來、急速の發達を遂げたのに反し、この國は内亂が多く、國勢が振るはない。現在米國は、この國の鑛物資源ばかりでなく、交通政治その他種々の方面に大きな壓力を加へてゐる。

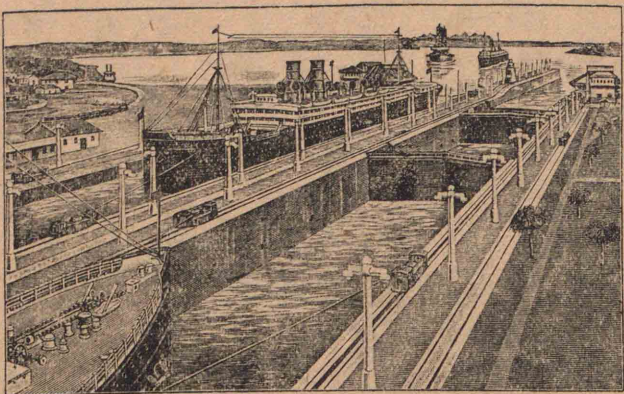
(四) 中央アメリカ及び西インド諸島

兩大陸を繋ぐ地帯 北米と南米の兩大陸を繋ぐ細長い地方が中央アメリカで、その中に六つの小國と、一つの英領とがある。一般に山がちで、火山が多く、屢、激しい地震に襲はれる。この地方も、かつてイスパニヤの領土であつたが、メキシコの獨立に次いで、次々に獨立したものである。これらの國々には、獨立國とはいへ、米國の勢力が深くひ入つてゐる。

海岸の平野は熱帶の不健康地であるから、高地が居住に適して

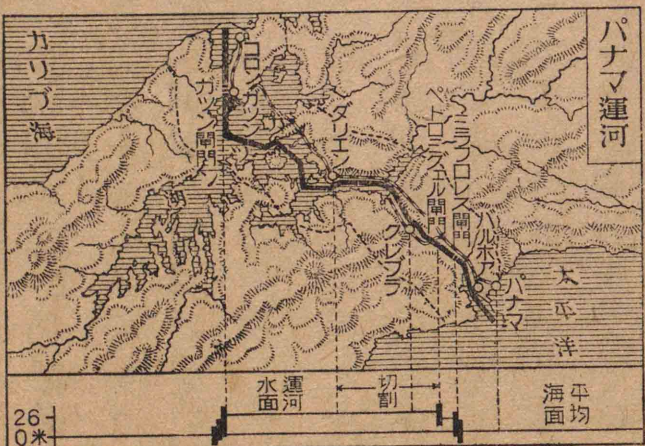
パナマ運河

ゐる。バナナ・コーヒ・ココア等を栽培し、又熱帶性の密林には良材を産する。



パナマ國の地峽部にあるパナマ運河は、大正三年、米國によつて切り開かれた運河で、太平洋・大西洋の二大洋を連絡し、交通上軍事上極めて重要である。米國はこの運

河の支配權を有し、堅固な要塞によつて防備してゐる。



熱帯の島々 中央アメリカとカリブ海を隔てて、西インド諸島がある。メキシコ灣口から東方へのび、南米の北岸に至る間、熱帯の海上に連なる大小數多の島々である。

この諸島も、中央アメリカと同じやうに、火山活動や地震が多い。さたうきび、煙草を始め、コーヒー、バナナ等の栽培が盛んで、殊にキューバの砂糖は、世界屈指の産額をもつてゐる。

西インド諸島は、コロンブスの探検以來、こゝにイスパニヤ人が渡來して、一時これを支配したが、やがて英・佛・蘭・米等の諸國が割り込み、互に島々を爭奪した。殊に米國は、これらの島々が自國に近接し、且つパナマ運河に至る道筋に當つてゐるため、國防上これを重視し、大いにその勢力を扶植した。三つの獨立國があるが、それらは名のみで、今では事實上、全諸島が米國の勢力圏と見なされる。

二 南アメリカ

南アメリカは、北アメリカの南に連なる大陸で、ほぼ三角形をなし、その大きさは北アメリカよりもやゝ小さい。

西の太平洋側には、アンデスの大山脈が南北に長く連なつてゐて、この大陸中、地勢の最も高く峻しい地域をなし、山中には所々に高原や盆地がある。アンデスは、高さではヒマラヤに次いでゐるが、長さでは世界第一の山脈である。

東部には廣いブラジル高地があつて、一般に峻しくない高原状態の地域となつてゐる。北部のギヤナ高地は、それよりも規模がずつと小さい。

この東西兩高地の間には、アマゾン・ラブラタの二大河の流域に

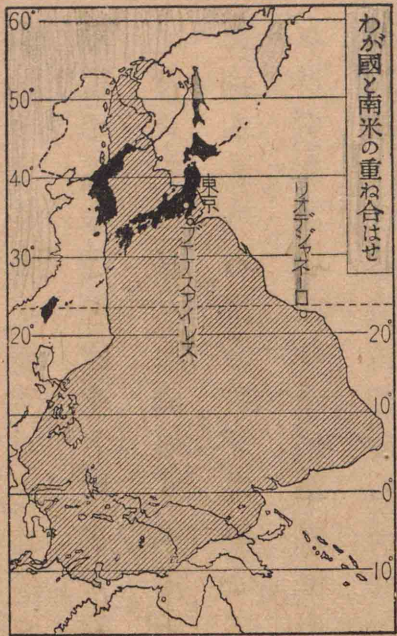
わたる中部の大平野が横たはつてゐる。

南アメリカは、北アメリカと共に形がほぼ三角形であることや、地勢が西部・東部の高地と中部大平野の三區に分たれることなど似通つてゐるが、赤道が北部を通過してゐるため、大陸の北半部が熱帯であることは、北アメリカと大いに相違する點である。

殊にアマゾン川流域は熱帯の特色が著しく、高温多湿であるため、到るところ深い密林におほはれてゐる。これに反し、南部のラブラタ川流域には廣い草原帯があつて、本大陸の主な農牧地となつてゐる。アンデスの山地は一般に氣候が乾燥してゐるが、殊にその西側は雨が少く、沙漠をなすところもある。

南アメリカの大部分は、今から四百年ぐらゐ前から、イスパニヤ・ポルトガル兩國の植民地となつた。その後、兩國とも本國本位の

悪い政治を行なつたため、北東の一部を除いて、各地がそれ／＼獨立し、現在では十の國々に分れてゐる。これら諸國のうち、國勢の最も盛んなのは、アルゼンチンとブラジル・チリである。



南米の諸國には、従來から歐米列強の資本が投ぜられ、随つてこれら諸國は、その勢力に壓迫されがちであり、特に米國の勢力はあらゆる方面に強大である。例へば航空路の如きも、米國經營のも

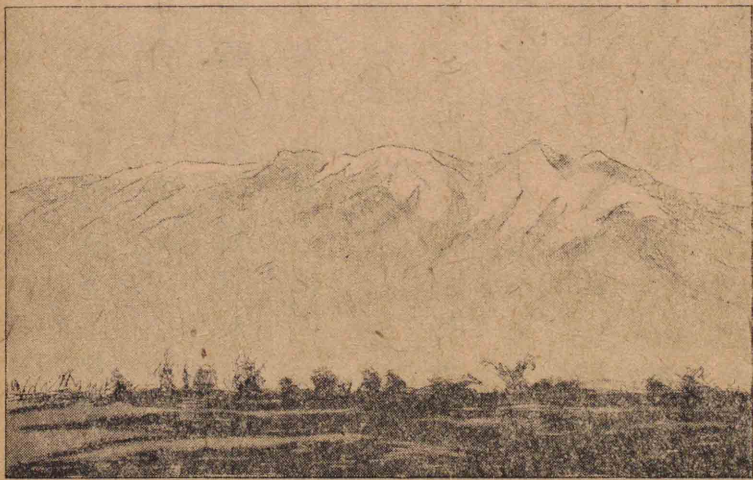
のが、南米・北米大陸を密接に連絡してゐる状態である。その他政治的に、又、軍事的に、最近米國の壓力が著しく加るやうになつた。南アメリカの面積は、わが國の約二十七倍に當つてゐるが、人口

は約九千萬で、わが國一國にも及ばないのを見て、この大陸の開發は、なほ將來にまつべきものの多いことが察せられる。

住民は、原住民のインディアンのほか、メキシコ、中米などと同じく、後からこの大陸に入り込んだラテン系のイスパニヤ人、ポルトガル人の子孫が多く、それらが支配的地位に立つてゐる。

(一) アンデス諸國

太平洋上から見ると、ちやうど屏風びやうぶを立てたやうに、峻しくそばだつてゐるア



アンデスの山々

ンデス山脈を中心とする地方には、幾つかの國々がある。コロンビヤとエクアドルは北部に、ペルーとボリビヤは中部に、チリは南部にある。

アンデス山脈が所々に火山をもつこと、山脈の西側に沿つて海溝が見られることなど、東亞の東側や、北アメリカの西側などと似通つてゐる。

コロンビヤ・エクアドル　コロンビヤは中米に續くところで、パナマ運河のある地方も、もとはこの國の領土であつた。アンデス山脈中には、金、白金等を産し、石油の産も知られてゐる。

海岸地方の熱帯の低地に、さとうきび、バナナ等が作られ、千メートルぐらゐの高地で、コーヒー、たうもろこし、麥類等の栽培が行なはれる。首府のボゴタは、約二千六百メートルの高所にある。

エクアドルはコロンビヤに隣り合ふ國で、その名は赤道を意味してゐる。大部分はアンデス山脈で占められてをり、西海岸と東側の低地には、熱帯の密林が繁茂してゐる。ココアとゴムは大體低地から、コーヒーは傾斜地から産出する。金や石油も有望である。

首府のキトーは、わが富士山の八合目ぐらゐの高所にあり、メキシコ市と同じく年中よい氣候である。そこへは、外港のグワヤキルから鐵道で登つて行く。鐵道沿線に近く、富士山に似て美しい世界最高の活火山コトバクシが望まれる。

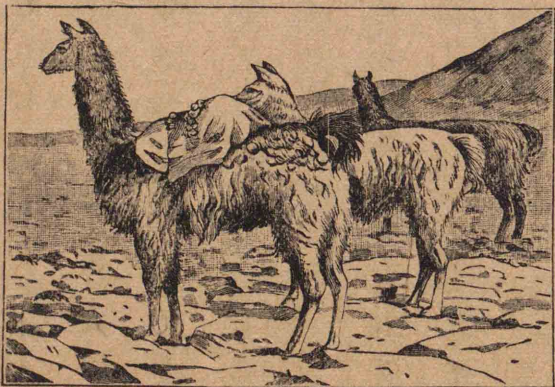
ガラバゴス諸島は、この國の西方遙かの海上にあるが、パナマ運河に對する要地として注目すべきところである。

ペルー・ボリビヤ ペルーは、南米太平洋沿岸では最も邦人の多く

住んでゐる國で、約二萬二千を數へる。主として首府のリマや、外港カイヤオ及びその附近に住み、各種の商業を營み、又、工場を經營し、耕地も所有してゐる。

リマ

ペルーの海岸地帯は、南へ行くほど雨が少い。このため綿やさたうきびは、川の水を引いて栽培してゐる。アンデス山脈中に都市があること、銀、銅等を始め、種々の鑛産物が豊富なことなどは、コロンビヤとほぼ似てゐる。北部では油田の開発も行なはれてゐる。山地ではリマ、アルパカが飼はれ、リマは駄用として、アルパカの毛は織物の原料として大切である。山脈の東側は、アマゾン上流の密林をなす低地で、人口は



極めて少い。

ペルーを中心とするアンデス地帯には、ヨーロッパ人の来る前に、インカ人の帝國があつて、特有の進んだ文化をもつてゐた。今もそれらの遺跡がクスコを始め、チチカカ湖附近などに残つてゐる。じやがいも、たうもろこし等を早くから栽培してゐたのもインカ人であり、それがヨーロッパその他へ傳へられたのである。

ボリビヤはペルーの南東にあつて、國の西半分はアンデス山地に占められ、東半分は熱帯の低地で、ゴムの産出も見られる。鑛産物では錫、アンチモニーが有名で、輸出品の主なものとなつてゐる。ラパスは、世界最高所にある首府といはれ、始めてこゝに来る者は高山病にかゝるほどである。

この國はもと西海岸に海の出口をもつてゐたが、チリと争つてそれを失つてしまつた。

細長い國チリ　チリは非常に細長い國で、どこまでも南北に走つてゐる。國の大部分はアンデス山脈を主とする山地で、火山が所々に分布し、地震も多い。氣候が北部中部南部で異り、南へ行くほど寒冷となる。

チリの北部は、ペルーの南部と共に高温で、雨が殆ど降らず、沙漠のやうな土地である。そこから多くのチリ硝石が産出し、チリの最も重要な資源となつてゐる。イキーク及びアントファガスタはその輸出港である。銅の産出も有名である。中部は氣候が溫和で、冬や、雨も降り、小麥、ぶどう等の栽培が行なはれてゐる。邦人のこの附近で、商業や農業、園藝などを營んでゐるものも少くない。南部は年中雨が多く、寒冷で、樹木が茂つてゐる。南端にマゼラン

海峽がある。

首府のサンチャゴは、外港のバルパライソから海岸山脈を過ぎてはいる縦谷の中にある。バルパライソは、南米太平洋岸の最重要港であり、これまでわが南米西岸廻り定期航路の終點となつてゐた。

(二) アルゼンチンとその他

農牧の國アルゼンチン チリとは背中合はせの國アルゼンチンは、國の大部分が平野で、氣候も概ね温帶性であるが、雨は比較的少い。分布圖でわかるやうに、ラプラタ川の流域一帯は小麥の大産地で、又、羊や牛馬の世界的な牧畜地域である。たうもろこし、亞麻仁油等も多く産し、南半球では濠洲と共に穀物倉といはれてゐる。この大平野を控へた首府ブエノスアイレスは、人口約二百五十萬、

南米第一の大都市で、港の設備がよく、農産物や畜産物の輸出港と

して名高い。

農業や牧畜の發達してゐる大平野は、南米で最も鐵道網の密な地域である。これらの鐵道は、土地が開けてから敷かれたといふよりも、先づ鐵道が敷かれ、その沿線が移住民によつ



て次第に開拓されて行つた場合が多い。

人口は約一千三百萬を數へ、イスパニヤ人の子孫を中心に、各國の移住民から成り立つてゐる。この國に住むわが國人は約七千

人で、大部分はブエノスアイレス及びその附近に住み、市内では商業を、郊外では野菜や草花栽培に従事してゐる。

小麦の野積

ウルグアイ・パラグアイ

ウルグアイは、その面積がわが

本州の八割ぐらゐで、牛・羊の牧畜の盛んな國である。首府のモンテビデオはラプラタ川の川口に位し、肉類の輸出港として特に知られてゐる。

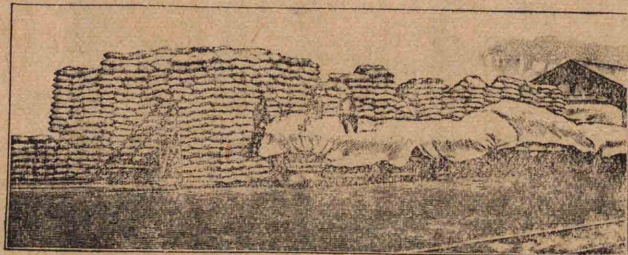
パラグアイは内陸の平原國で、さたうきび・煙草・マテ茶・タンニン等を産する。

(三) ブラジルとその他

ブラジル高地とアマゾン流域

南アメリカの東半

を占めるブラジルは、この大陸第一の大國で、南部のブラジル高地と、北部のアマゾン川流域とに大別することができ



る。
ブラジル高地は、地勢が一般に高臺であるため、熱帯性の氣候が和らげられてゐる。高地の南部一帯はコーヒーの産地で、産額は世界の過半を占め、その大部分は米國へ送られる。

コーヒー園と邦人

綿の栽培も盛んで、紡績工業も興つてゐる。東部の海岸では、さたうきびの産出が多い。牧畜も一般に盛んで、牛・馬・豚の頭数が多い。

ブラジル高地には、鐵・マンガン・石炭・金

金剛石等の地下資源が多く、鑛業の將來は甚だ有望とされてゐる。

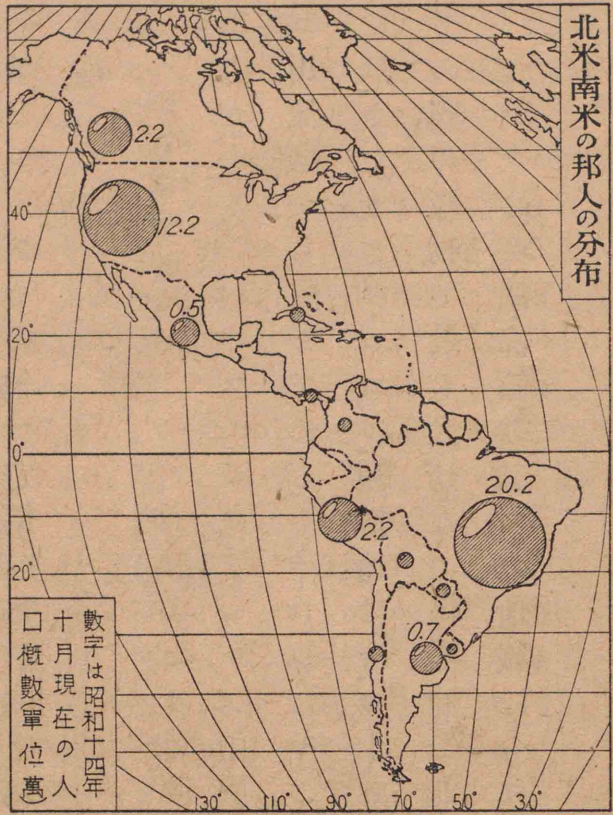


アマゾン川は、果てしない熱帯の密林地帯を貫ぬいて洋々として流れてゐる。流域一帯は高温多雨で、まだ開発が進まず、人口も非常に稀薄である。しかし、この密林地帯がゴムの原産地で、今もゴムが大切な産物となつてゐることは、注意すべきことである。

ブラジルと日本人 ブラジルは國の面積がわが國の約十二倍半に達するが、人口は四千四百萬に過ぎない。しかも資源が非常に豊富であるから、アルゼンチンと同様、これまで各國から移住民を歓迎し、わが國からの移住民も、年々増加して約二十萬に達した。

この國は約三百年間ポルトガルの植民地であつたが、今から百二十年ぐらゐる前に獨立した。國語は今もポルトガル語を使つてゐる。南米の他の國々がイスパニヤから獨立し、今もイスパニヤ語を使用してゐるのに對して一つの特色をなしてゐる。随つて、

移住民のうちでもポルトガル人が最も多く、イタリヤ人、イスパニ



ヤ人、ドイツ人なども少くない。又、南米の他の國々と同様、原住民や黑人及びそれらとヨーロッパ人との混血も少くない。

ブラジルに住む邦人の大多數はサンパウロ州及びその附近に住み、主にコーヒーや綿の栽培に従事し、又、養蠶、米作などにも成功してゐる。なほアマゾン流域の邦人の活躍も注目すべきものがある。

首府リオデジャネーロは人口約百八十萬、風景の美しい良港である。大東亞戦争以前まで、わが汽船は、この港及び移住民の主な上陸地サントスその他へ定期航路を開き、綿やコーヒーなどを買い入れてゐた。

ベネズエラギヤナ ブラジルの北には、ギヤナとベネズエラの二地方がある。ベネズエラは、アンデス山脈ギヤナ高地及びオリノコ川流域から成つてゐる。コロンビヤの場合と似て、海岸の低地には、さたうきびココア、傾斜地には、コーヒーが栽培されてゐる。この國の産物で最も大切なのは石油で、北西部に主な産地がある。ギヤナは英・蘭・佛領の三つの地域に分れ、英領が割合開發されてゐる。

(四) わが國と南アメリカ

南アメリカはちよつと考へると、わが國とは非常に遠く隔たり、関係も餘り深さうにも思へないのであるが、各地方を調べて行くに従つて、決してさうでないことがわかる。

大東亞戦争前わが國の汽船は、南アメリカの太平洋岸にも、大西洋岸にも定期的に通ひ、移住民の輸送や、貿易方面その他に活躍を續けてゐた。アルゼンチンや、ブラジルへ通ふわが航路には、東亞からインド洋及び大西洋を經由し、歸路はパナマ運河を通過して、太平洋を横ぎり、完全に世界を一周するものがあつた。

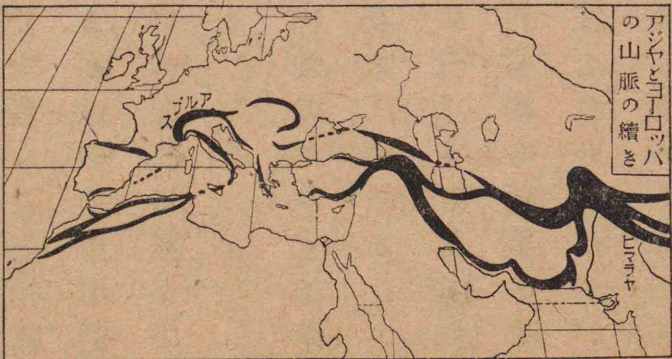
土地が廣く人口が少い上に、資源の極めて豊かなこの大陸が、これまでのやうに米國や英國などによつて、經濟的にも政治的にも種々の壓迫をかうむつてゐることは、決してその本然の姿ではない。

三 ヨーロッパ

アジアとヨーロッパ 地圖を開けばわかるやうに、ヨーロッパはアジアの西に續く半島狀の地域で、その面積はアジアの凡そ四分の一に過ぎない。

ヨーロッパが、アジアの地續きであるといふことは、ヨーロッパの地理的特性の一つとして大切である。この點、アメリカ大陸などのやうに、大洋によつて他の大陸と隔てられてゐるところとは、おのづからちがつた性質が見られる。本來、アジアとヨーロッパは、相連なつて世界最大の大陸を形づくつてゐるのであつて、アジアが胴體であり、半島部のヨーロッパはその肢節しせつに當つてゐる。アジアとヨーロッパとの境界を見るのに、地中海と黒海とを繋ぐ狭い海峡は

呼べは應おこへるばかりに接近してゐるし、その他の陸の部分には、低いウラル山脈以外に、著しい自然的境界がない。随つて亞歐兩地域の間には、自然的にも文化的にも密接な關係が認められる。シベリヤから中アジアに至る廣大な平野は、東部ヨーロッパへ續き、更に中部ヨーロッパの大西洋沿岸にのびてゐる。その他、ヨーロッパには所々平野が多く、平野は全面積の半ば以上に達してゐる。又、大陸の骨こつ格かくともいへる大山脈も、亞歐にわたる一系のもので、ヒマラヤからアルプスへ至る幾條かの山脈は、東西の連絡を保つてゐる。たゞこれらの山脈は一直線に續くのではなく、多くはうねりまが



つて走る間に、その一部は湖海によつて斷絶してゐるし、又、山脈と山脈とが、或は集つて高原を作り、或は離れて盆地を圍むなど、複雑な地形を呈してゐる。かうした諸山脈の連なる南歐の地中海沿岸は、ヨーロッパで最も高峻な山岳地域をなし、地形の變化に富んでゐる。

ヨーロッパの北部は、高原狀のスカンジナビヤ山地のほか土地が低平で、氷河によつて作られた多くの湖沼が散在してゐる。

かやうに、アジアとヨーロッパとの間には、兩者の交通を妨げるやうな廣い海や沙漠や高い山脈などが無いので、古くから民族の來往がくり返され、殊にアジアからヨーロッパへ移住したものが多かつたやうである。これが、ヨーロッパの民族の複雑である一つの原因であり、又、民族の複雑なことが、ひいてはヨーロッパに獨立國の多

いことと關係をもつてゐる。

海との關係

半島狀のヨーロッパが、海に縁の深いこともまた、その特性の一つとして注意しなければならない。三面に海をめぐらし、海岸線は長くて非常に複雑である。北は北極海に面し、西は廣く大西洋に開けてゐるが、南の地中海はそれらとちがつて、陸地に深く入り込んだ内海である。地中海は、ヨーロッパとアフリカとを隔てるばかりでなく、その水は黒海とも通じて、いはばヨーロッパとアジアとの境界の一部となつてゐる。しかも地中海には、各所に陸地との間に飛石のやうな島々が散在し、又、長い半島が突き出て對岸に接近してゐるなど、周圍の地域を隔離するよりも、むしろ互に結びつけるのに役立つてゐる。ヨーロッパの歴史が、東地中海の地域から始るのは、アジア及びアフリカとの關係の深かつたこ

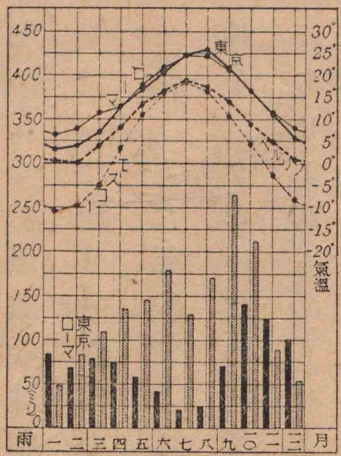
とをよく物語つてゐる。又、かつて地中海を中心として幾度かこの三地域にまたがる國の出來たことも、このことをよく證明してゐる。ヨーロッパと地中海とは、古くから切り離すことのできない運命によつて結ばれてゐる。

ヨーロッパに於ける文化の中心は、地中海沿岸から大西洋沿岸に移動し、やがて大西洋を越えてアメリカ大陸に波及したのであるが、この情勢はそのまゝ、續いて今日に及んでゐる。

ヨーロッパに於ける海の影響は、先づ氣候によくあらはれてゐる。地圖の上で緯度に注意してみよう。ヨーロッパ本土のうちで、一ばん南に當るイベリヤ半島の南端は、凡そ北緯三十六度で、東京よりも半度ばかり北にある。ベルリンやロンドンには、北緯五十度以北にあつて、これをわが國や東亞諸地方などに比べると、ヨーロッパで

はずつと緯度の高い地方に活動の中心地があることがわかる。

これは、ヨーロッパの冬が緯度の割合に氣温の高いことによるのであり、この現象は主としてヨーロッパの大西洋沿岸を流れるメキシコ灣流といふ大きな暖流と、その上を吹く偏西風との影響に基づいて起るのである。しかも主な山脈が、大



體東西の方向であるから、濕氣を含んだ西風は内陸へ遠く吹き入ることができて、高緯度の氣候を和らげるとともに、東部を除き、一般に適度の降雨を與へてゐる。殊に

大西洋沿岸は夏冬の氣温の差が少く、よく海洋性氣候の特色を呈してゐる。しかし、大西洋から東へ遠ざかるに従つて、その影響が減少して行くのは事實で、東部ヨーロッパでは雨が少く、寒暑の差の

著しい大陸性氣候を示してゐる。

周圍に山脈をめぐらした地中海沿岸は、一般に雨が少く、殊に夏は乾燥して、冬、雨が多いたつた、いはゆる地中海性氣候を呈する。明かるくて溫暖な地中海沿岸は、氣候上、ヨーロッパの他の地域とはちがつた趣をもつてゐる。

かうした氣候であるヨーロッパは、他の大陸に見るやうな酷熱の地を含まないばかりでなく、極寒の地も僅かである。つまり暑さにもせよ寒さにもせよ嚴しさが少く、全體として恵まれた氣候のもとに置かれてゐる。これが住民の活動に對して、非常に好都合なのは、いふまでもない。

随つてヨーロッパの大部分の土地は、その氣候が農業や牧畜に適し、不毛地が極めて少く、土地は到るところよく利用されてゐる。

海がヨーロッパの氣候に大きな影響を與へてゐるやうに、又その住民の性情にも關係するところが深い。古來ヨーロッパでは、海事に堪能な民族が多くあらはれ、世界の海に乗り出して各地に植民地を獲得した。かれらは植民地の原住民を使役し、その資源を利用して、本國の繁榮に資した。ヨーロッパの繁榮と文化は、かうした海外植民地に負ふところが少くない。これら植民地に發展した民族の中には、本國から獨立して新たに國を建てたものも多いが、とにかくヨーロッパ人の支配下にある地域は、アフリカの殆ど全部と、南北アメリカの全部、及びアジアの諸地域などで、いはば世界陸地の大半をその勢力下に置いてゐるありさまである。もちろん、これは單にヨーロッパ人と海との關係からのみ考へられる問題ではなく、かれら自身が活動性に富むことや、領土擴張の意欲の旺盛

なことなどと併せ考へなければならぬ。

随つてわれ／＼がヨーロッパを理會するためには、その自然の環境と共に、主な民族の性情について考察することが大切なのである。

民族と國家

ヨーロッパは人口約五億三千万、大部分がヨーロッパ人種で、その主要なものにチュートン・ラテン・スラブの諸族がある。

チュートン族はドイツ人やイギリス人によつて代表され、ラテン族はフランス人やイタリヤ人によつて、スラブ族はロシア人によつて代表される。このほかアジア人種に屬するトルコ・マジール・フィン等の諸族もある。

ヨーロッパ人種の間には、キリスト教があまねく行なはれ、これらの文化とキリスト教とは、切り離すことのできないほど、深い關係がある。キリスト教のうち、新教は主としてチュートン族の間に、舊教はラテン族の間に、ギリシヤ教はスラブ族の間に行なはれてゐる。その他、バルカン方面やロシアには、回教徒も少くない。

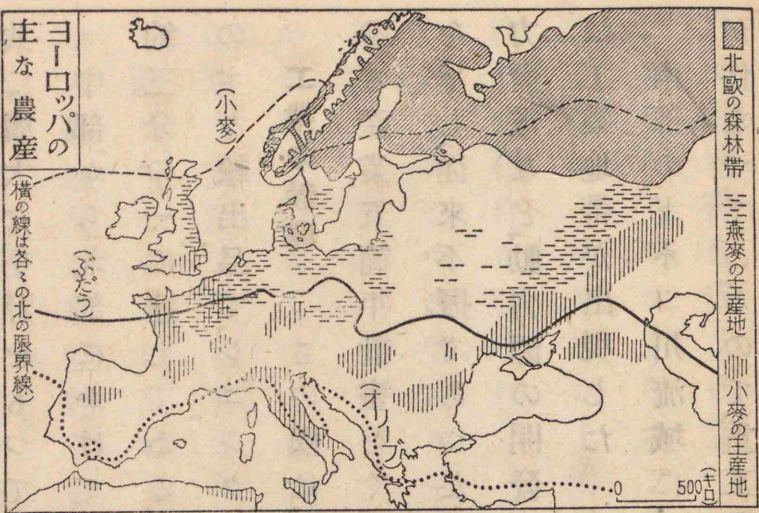
ヨーロッパには、多くの民族が分布し、大小數多の國々が作られてゐるので、國境が複雑であり、各國の關係もまた同様に複雑である。互に近接するこれらの國々が、各自の特性を發揮しつゝ、その發展を競ふことは、文化の向上に大きな貢獻をなしたゆゑであるが、又、互に激しく相争ひ相戦ふ機會も起り易く、随つて國家に盛衰興亡があり、國境の變遷も屢行なはれて來たのである。

ヨーロッパの諸國中には、早くからわが國と文化・政治・經濟等の上に、關係の深い國々が多く、彼我が交通も近年益々盛んとなつて行つた。わが國とヨーロッパとの交通は、從來スエズ運河を経由する海

路が最も多く利用され、又、一方シベリヤ鐵道を経由する陸路による場合も少くない。

(一) ロシヤ(ソビエト聯邦)

廣大な大陸國 ヨーロッパでは、多くの國が海に縁が深いのに反し、東歐の廣い平野に據るロシヤは、海に恵まれない國である。北極海の利用は至つて少いし、バルト海や黒海に面してゐても、その出口の海峽は他國の支配下にあつて、甚だ不利である。外洋から遠ざかつてゐるため、氣候もヨーロッパでは一ばん大陸性で、寒暑の差が甚だしく、冬は北極海・バルト海の沿岸ばかりでなく、川も氷結する。しかし國土は廣大で、ヨーロッパの殆ど半分の面積を占め、アジアの領土を加へると、世界陸地の約六分の一に及んでゐる。東歐は平野が廣い上に、南部には黒土地方と呼ばれる肥沃な土



ヨーロッパの主な農産

が盛んであり、馬の頭數は世界一である。かやうに農牧業の規模

地がある。随つて農業がよく發達し、盛んに機械を使用して、大規模に行なはれてゐる。小麥・大麥・ライ麥・燕麥等の麥類や、じゃがいも・亞麻・大麻等は、いづれも世界有數の産額を示し、甜菜・煙草・綿等の産も多い。ヨーロッパの穀物倉の名にふさはしく、住民の大部分は農業に従事してゐる。黒海沿岸にあるオデッサは、穀物の輸出港として名高いところである。

又、草地在廣いので、羊・牛・馬等の牧畜

が大きいことに於いて、この國は米國と似てゐるが、それは兩者が共に廣大な平野をもつてゐるからである。

中部から北部にかけては森林が廣く分布し、その面積は國土の約三分の一に達してゐる。随つて木材の産が多く、木材はこの國の主な輸出品で、レニングラードから、盛んに輸出される。

工業の勃興　この國は、近年すべての産業を國家經營とし、いはゆる産業五箇年計畫をくり返し行なふことによつて、俄かに活氣を呈し、從來不振であつた工業が急速に勃興した。石炭の採掘、水力發電など、動力源の開発が盛んに行なはれ、大都市や炭田附近には工業地帯が出現した。

南部のドネツ川流域には、豊富な炭田があり、附近に鐵鑛の産地が伴なつてゐるので、重工業その他の工業が急速に發達して、重要

な工業地帯を成すに至つた。南部の主要都市であるスターリングラード・ハルコフ・キエフ等は、いづれも工業都市として活氣を帯びてゐる。又、モスコフ附近や、ウラル山地などにも、炭田と鐵鑛産地とが相伴なひ、それ／＼工業地帯を作つてゐる。

コーカシヤの豊富な油田をもつこの國は、世界屈指の石油産額を有し、又、製鐵に必要なマンガンの産額は世界一である。その他、岩鹽・金・銅等も少くない。シベリヤ方面に於いても、石炭その他の地下資源の開発が進み、この方面の工業も注意をひくのである。随つてこの國に於けるヨーロッパ本土と、アジヤの領土とを連絡する鐵道及び航空路は、經濟的に、又、軍事的・政治的に、いよ／＼重視されるやうになつた。近年、この國の交通路が著しく發達したことは、産業の振興と深い關係がある。

首府モスコは、これら国内の交通路の集るところであり、同時にヨーロッパに於ける交通の中心地となつてゐる。人口四百萬をこえる世界的大都市である。これに次ぐレニングラードはもとの首府で、人口約三百萬、バルト海への唯一の門戸をなしてゐる。

ロシア人　この國の人口は、ヨーロッパの本土約一億四千萬、アジアの領土を加へると、一億七千萬に達する。大部分はスラブ族のロシア人で、それが支配的實權をもつてゐるが、なほ国内には種々の民族を含んでゐる。さうして、ロシア人を主體とするロシア共和国を中心とし、東歐からアジアにかけて幾つかの自治共和国や、自治區域を總括するソビエト聯邦が組織されてゐる。ロシア人は、農民としての傳統的な生活や、氣候の試煉しれんなどの影響によつて、强健な身體と困苦に耐へるねばり強い性質をもつてゐる。海へ

の發展には幾多の困難があるが、廣大な國土、多數の人口をもつてゐることは、この國の大きな強みである。その廣い國土内には、未開發の資源がまだ、残されてゐるし、強大な陸軍を誇るのも、大きな人口をもつ陸の國であるからである。

わが國及び滿洲國は、この國の領土と境を接してゐる。随つて、軍事・政治・交通等に於いて重大な關係があることに注意しなければならぬ。

(二) 北歐諸國(スウェーデン・ノルウェー・フィンランド)

スカンジナビヤ半島は、ヨーロッパ北部にある大きな半島で、その内側にバルト海が奥深く入り込んでゐる。この半島にスウェーデン・ノルウェーの二國があり、半島のつけ根に近くフィンランドがある。スカンジナビヤ半島は、一般に高原狀をなし、分水嶺が西にかた

よつてゐるため、東側のスウェーデンは地勢がやゝ緩かであるが、西側のノルウェーは山地が直ちに海に迫り、絶壁をなす大小の峽灣が連なつてゐて、壯大な風光を呈してゐる。



ノルウェーの峽灣

スカンジナビヤ半島からフィンランドにかけての帯は、廣く森林におほはれ、その間に多くの湖沼が散在してゐる。高緯度の地方であるから、氣候は寒冷で、冬バルト海の大部分が凍るのは大きな缺點である。しかし大西洋岸は、メキシコ灣流の影響を受けるから、ノルウェーでは北部の海岸も凍らない。

北歐諸國では、農業は、南部を除けば一般に振るはない。随つて食糧の自給は困難で、従來少からずこれを他國から輸入してゐるので、戦時下に於ける食糧問題はこれら諸國にとつて大きな問題である。

森林は大きな富源で、到るところに用材、パルプ、紙等の製造が行なはれ、この地方の主要産物として各地へ送られる。

スウェーデンは良質の鐵鑛を多く産するが、石炭の産出に乏しい。近年水力を利用する製鐵も興つてゐるが、多くは鑛石のまゝ、ドイツ、イギリス等へ輸出される。首府ストックホルムは、風景の美しい貿易港である。ゲーテボルグもこの國の主な貿易港で、工業が盛んである。

ノルウェーの近海は世界的な好漁場で、たらにしん等の魚類が非

川 魚 類

常に多く、ベルゲンその他の漁港が發達してゐる。首府オスロは南部の灣に臨み、重要な門戸となつてゐる。

スウェーデン・ノルウェー二國の住民は、淳朴で敢爲な氣性に富み、古來航海の技に長じてゐる。特にノルウェーは、世界有數の海運國として商船の數が多い。

フィンランドの住民はアジャ人種に屬するフィン人であり、體育競技に熱心で、教育も普及してゐる。首府ヘルシンキは、この國第一の貿易港である。

(三) ドイツ

ドイツは、ヨーロッパのほぼ中央に位し、周圍には多くの國々がある。随つてその位置は非常に樞要であるとともに、國際關係も複雑である。軍事政治文化等に於いて、この國は、けだし、ヨーロッパの

重鎮である。

各種産業の發達

國の南部から中部にかけては、大部分が高地帯であるが、北部には廣い平野があつて東西にのび、オーデル・エルベ・ライン等の諸川が北部平野を横ぎつて、バルト海及び北海に注いでゐる。これらの川は、流れが緩かで水量が多く、互に運河で結ばれてゐるので、水運の便が大きい。

この國は、各種の産業がよく發達し、世界の模範とすべきものが多い。しかもそれは、必ずしも天然資源に恵まれてゐるためでなく、優秀な國民性に負ふところが少くない。

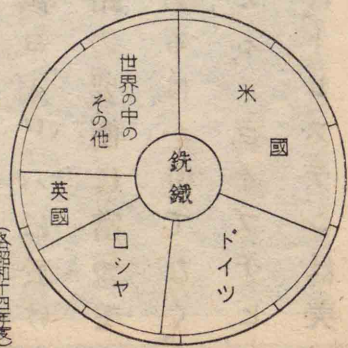
北部平野は、元來、氷河作用で出來た湖沼の多い瘠せた土地であるが、住民の農業技術と勤勉によつて、りつばな農耕地となつてゐる。土地の開拓が行き届いてゐるので、耕地は全土の四割に達

し、大きな生産をあげてゐる。殊に麥類、じやがいも、甜菜等の産額が多く、甜菜糖の産額はロシアと一、二を争つてゐる。又ライン川沿岸には、ぶだうの栽培が盛んである。家畜では豚や牛が最も多く、その頭数はいづれもヨーロッパではロシアに次ぎ、バタの産額は、米國に次いで世界第二位にある。主要産物の豊富なことは、國民の科學的技能と相まつて、この國を世界一流の工業國たらしめたゆゑんであり、特にその化學工業は獨得の發達を示してゐる。

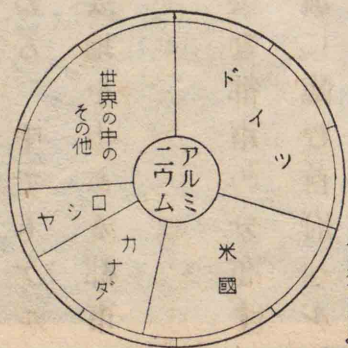
中部高地帯には、所々に炭田と鐵鑛産地が分布し、主な炭田地方には、種々の工業が發達して工業地帯を作つてゐる。その上、スウェーデン・フランス・イスパニヤ等からも、鐵鑛を輸入して製鐵されるので、鐵の産額は米國に次いで世界第二位である。又、アルミニウムの製鍊高は世界第一である。なほ金屬鑛物には、鉛、亞鉛等が多

い。ハルツ山麓附近一帯からは、カリ鹽、岩鹽が多量に産出し、その産額も世界の首位を占めてゐる。これらの地下資源は、いふまでもなくこの國に於ける工業の發達に大きな役割を果してゐるのである。

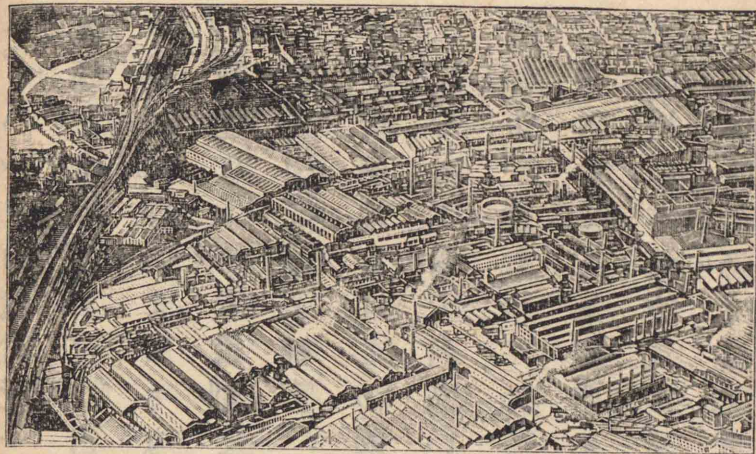
主な川の流域と都市 ライン川下流沿岸のルール炭田地方は、この國第一の工業地帯であり、クルップ鐵工場で名高いエッセンを始め、多くの工業都市が連なつてゐる。そのほか、ライン流域一帯各地に工業が盛んであるが、それはすべてこの川の本流・支流の水運による物資輸送の便に負ふところが少くない。しかも、沿岸は國內で最も氣候の溫暖な地方であり、古くから土地が開け、人口が密で



(大正十四年度)



エッセンの工場



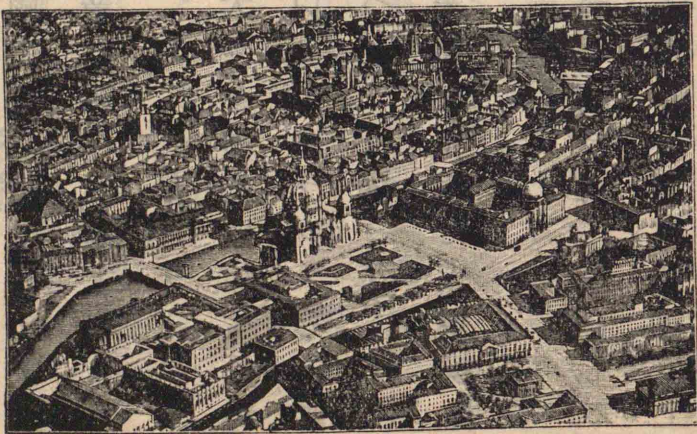
ある。風光の美しい河流に沿つて史蹟が連なり、都市が發達してゐる。中でもケルンは最も大きく、水陸の要地を占める都市である。

エルベ川の流域も主要な都市の分布する地域で、この川の一支流に臨む首府ベルリンは、人口約四百三十萬、ヨーロッパに於ける陸上交通、並びに航空路の要衝（まがら）に當つてゐる。商工業が盛んであるばかりでなく、學術の中心地となつてゐる。ライプチヒも學術の地として知られ、ドレスデンは美術工藝によつて有名である。

エルベ川下流のハンブルグは、この國第

ベルリン

一の貿易港で、又、工業が盛んである。この川の上流ポヘミヤ盆地には、鐵、石炭の産が多く、一工業地區をなしてゐるが、プラーグはその中心地である。南部のドナウ川流域には、ミュンヘンやウィーンの大都市がある。南ドイツはビールの主産地で、ミュンヘンがその中心地である。ウィーンは人口約二百萬、舊オーストリアの首府として榮えたところである。國民の回國するに當り、この國の優れた國民性、九千萬に近いこの國の人口は、大部分がドイツ人であり、隨つて民族的團結が固い。



第一次歐洲大戰に破れたドイツは、一時、國運も危ぶまれるほどの打撃を受けた。しかもその後約二十年、國民は逆境に屈せず、萬難を排して國力の回復をはかつたので、産業は再び活潑となり、軍備は充實し、國民の意氣また大いに揚つた。かくて最近オーストリアを併合し、次いでチエッコ、スロバキヤの大半を領土に加へたが、更に第二次歐洲大戰に入るや、破竹の勢を以つてフランスその他を攻略し、ヨーロッパの要地を占據するに至つた。現在、一方に於いてはロシヤを相手に、又、他方には英國及び米國を相手に、大規模な戰爭を續けてゐる。

國民は勤勉であり、規律を重んじ、しかも科學的技術に長じてゐるので、あらゆる事業に整備した組織をもち、それが國家活動の上に大きな力となつてゐる。又、愛國心が強く、勇氣に富むなど、わが國民性と似通ふところが多い。かくてドイツは今や、わが國と東西相呼應して、世界新秩序の建設に邁進してゐるのである。

(四) ドイツをめぐる中歐諸國

ドイツを中心として、その周圍をめぐる中歐の國々には、北にデンマーク、西にオランダ、ベルギー、南から東へかけてスイス、ハンガリー、スロバキヤ等がある。多くは小國で、第二次歐洲大戰の勃發以來、ドイツの占據下にあるか、或はドイツと協力してゐる國々である。

デンマーク

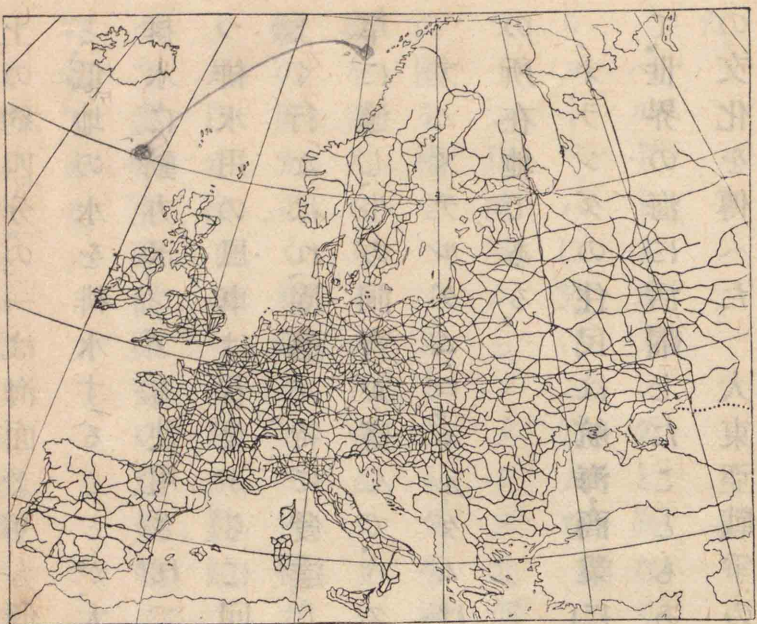
ユトランド半島の大部分と、附近の島々とから成るデンマークは、バルト海と北海の通路に當る大切な位置を占めてゐる。面積はわが九州ぐらゐであるが、土地が低平で、國土の大部分が耕地となつてゐる。元來地味は肥沃でないが、國民が勤勉

で、土地の經營がよく行き届き、農牧業が模範的に發達してゐる。殊に盛んなのは牧畜で、バタはこの國の最も重要な輸出品である。首府コペンハーゲンコペンハーゲンは東部の島にあつて、バルト海の門戸に當り、貿易が盛んである。

オランダ・ベルギー

オランダとベルギーは、ドイツからフランスへ續く北海沿岸の平野地帯であつて、いづれもその面積は、わが臺灣にも及ばない小國である。このやうな小國が、これまで獨立を保つて來たのは、主としてその位置が、ドイツ・イギリス・フランスの三強國の間にはさまり、それら強國の緩衝地帯となつてゐたことによる。その代り、これら強國の間に戦争が起る場合には、屢その禍中に巻き込まれて、戰場と化するのである。今次の歐洲大戦に於いて、英佛側に立つたこの二國は、直ちにドイツによつて攻略

ヨーロッパの鐵道網



され、今その支配下に置かれてゐる。

かやうにこの地域は、ヨーロッパの樞要な位置に當るので、交通がよく發達し、鐵道は網の目のやうに分布してゐる。又、土地が一般に低平であるから、川筋を繋ぐ運河が縦横に通じて、水路の便を與へてゐる。交通の發達に伴なつて、人口の密度も非常に高い。

ラインの川口附近一帯を占めるオランダは、特に低地が多く、國

土の約四分の一は海面よりも低いために、海水の侵入を防ぐことと、低地の水を排水することが、大きな仕事となつてゐる。今では、排水に動力ポンプも使用されてゐるが、なほ水邊のそこ、に立つ排水用の風車は、昔ながらに回轉してゐる。地味肥沃で農業がよく行なはれ、園藝が特に發達してゐる。又、低濕な沿岸地帯は牧草に適し、牛の飼育が盛んで、バターやチーズの産が多い。

アムステルダム・ロッテルダムは、この國の主な港で、ヘーグは政廳の所在地である。

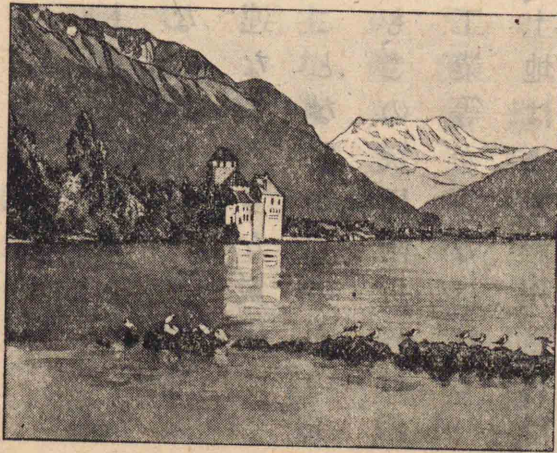
オランダの住民は航海商業に長じ、かつては歐洲の諸國を壓して、世界の海に活躍したこともあり、當時わが國とも通商して、西歐の文化を傳へた。大東亞戰爭の勃發に際し、米英の陣營に加つてわが國に敵對したため、この國の重要な海外植民地であつた東インドの島々は、ことごとくわが軍によつて攻略占據されるに至つた。

ベルギーはオランダと異なり、工業を最も重要な産業としてをり、ヨーロッパに於ける盛大な一工業地帯をなしてゐる。ドイツのライン川流域から、フランス北部へかけて連なる大きな炭田がこの國を横ぎつてゐること、又、勞働力の多いことなどが、この國の工業を盛んならしめたゆゑである。しかも、この炭田附近には鐵鑛の産が多く、製鐵を始め、機械、ガラス、紡織工業等が行なはれる。人口が密であり、住民が勤勉であるから、土地はよく利用され、随つて麥類、亞麻、甜菜等の農産物も、その收穫率の高いことによつて有名である。

首府ブルッセルはこの國第一の都市で、交通の要地に位してゐる。

アンベルスは貿易が盛んで、中歐の門戸をなしてゐる。
 山の國スイス アルプスの高い山地と高原地方を占めるスイスは、臺灣よりやゝ大きい程度の小國である。スイスの山と湖。これもまた、ドイツ・フランス・イタリアの三國の間にあつて、その緩衝地帯となつてゐるのである。

氷河を懸けた秀麗な山容や、谷間にたゞへた清澄な湖など、風景の美に恵まれた國であるから、世界各地からの観光客が多く、それに對する設備もよく整つてゐる。觀光業はこの國の大きな財源となつてゐる。地勢が峻しく、農業には適しないが、山腹や丘陵地には美しい牧



場があつて、牛が多く飼育され、乳製品は重要な産物の一つである。又、豊富な水力を利用した工業が盛んで、時計その他の精密機械、織物等を製造する輕工業や、化學工業が行なはれてゐる。

ヨーロッパの交通上、重要な位置に當つてゐるこの國は、數條の幹線鐵道を通じ、大トンネルをアルプスにうがつて國土を通過させてゐる。永世局外中立國であり、首府ベルンやジュネーブなどには、種々の國際的な機關がある。

ハンガリーその他 ハンガリーはドイツの南東、ドナウ川流域に當る大盆地の中にある國である。氣候は大陸性で、雨は少いが、平野が廣く、地味が肥えてゐるので、農業はよく行なはれ、草原には牛・馬・羊等の牧畜が盛んである。

住民は主としてアジア人種に屬するマジヤール族で、歐洲化され

てはゐるが、その氣質には、遊牧生活を營んだ勇敢な祖先アジヤ人の氣風が認められる。

首府ブダペストはドナウ川にまたがり、交通・商業の中心をなしてゐる。

ハンガリーの北にあるスロバキヤは、最近、チッコスロバキヤの大部分がドイツに併合された際、スロバック族の住む一部地方の獨立したもので、ドイツの保護下にある。

(五) イギリス(英國)

島國としての特色 イギリスは、ヨーロッパ本土の西にある島國で、大ブリテン及びアイルランドの二大島と、附屬の島々とから成り立つてゐる。

面積はわが國の半分よりも小さく、人口は約五千萬である。面

積に於てわが本州には、等しい大ブリテン島は、イングランド・ウェールズ・スコットランドの三部に分たれ、アイルランド島は、北アイルランドとエイレ國とから成つてゐる。

イギリスがヨーロッパ本土に近接した島國であることは、先づこの國に就いて注意すべき特色の一つである。

ヨーロッパ本土と近距離にあり、密接な關係はあつても、その間に狭い海峡があつて、大陸から隔たつてゐるといふことに大きな意味がある。随つてイギリスは、場合によつてはヨーロッパ本土に起る動亂を對岸の火災視して、いはゆる光榮ある孤立を保つことにつとめ、又、他の場合には、本土に於ける強國間の紛争に油を注いで、自國の利益を計り、形勢に應じては、兵を本土に進めたことも屢である。

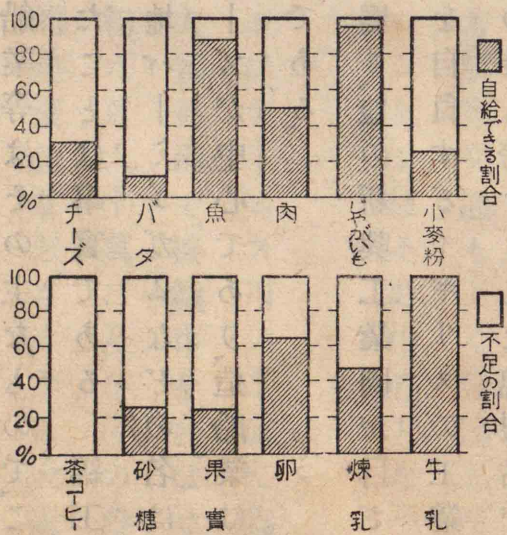
又、世界の海に乗り出して、手あたり次第に植民地を獲得し、その領土に太陽の没することがないと豪語するほどの廣大な植民地を足場として、自國の繁榮を築いて來たことや、その植民帝國を保持するに必要な大海軍を誇るなど、は、専ら海の活動に恵まれた地理的位置に負ふところが多い。

食料や工業原料など、重要な物資の大部分を海外植民地及び諸外國に仰ぎ、逆に工業製品を海外に輸出するこの國に取つて、通商貿易が大切であることはいふまでもない。随つて國民の生活は、商船の活動によつて維持されてゐるといつても過言でない。ロンドンや、リバプールのやうな大商港が發達してゐるのも、偶然ではない。

商工業を中心とした生活

ウェールスや、スコットランドは山がちであるが、イングランドの大部分は、平野や丘陵地をなしてゐる。氣候は専らメキシコ灣流の影響を受けて溫和であり、雨量にも恵まれてゐる。随つて土地は農業に適し、

昔は農業國として立つてゐたが、商工業が發達するにつれ、住民は多く都市に集つて、殆ど農業を顧みなくなつた。かくて耕地は大抵、羊や牛の牧場となり、國內で産する食糧は國民を數ヶ月しか養ふに過ぎない。このやうに食糧の自給自足から遠ざかつたことは、今日のやうな戰時下に於いて、この國が大きな困難を感じてゐるゆゑんである。



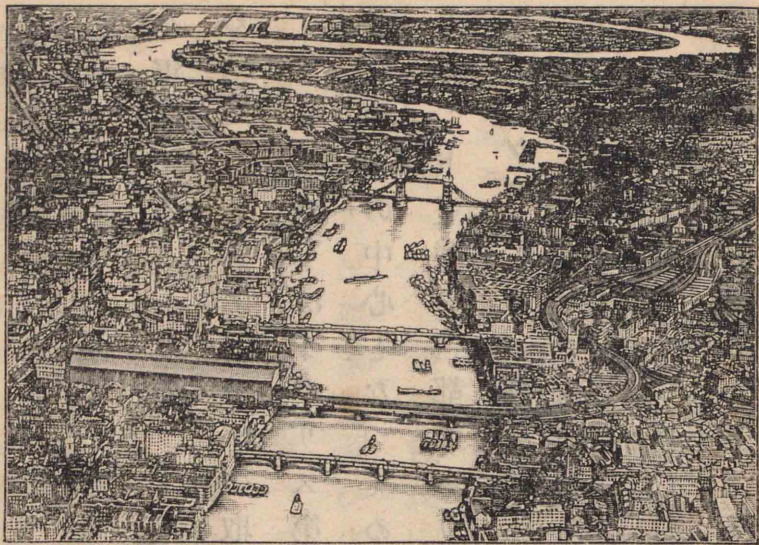
豊富な炭田が廣く分布してゐる上、鐵産地が大體、炭田と近接してゐるために、早くから石炭や、鐵の利用が起り、種々の近代工業が發達した。綿羊毛の紡織業、鐵工業、造船業等はその主なもので、これらの製品が一時世界に幅をきかしたことは事實である。綿工業地としてのマンチェスターや、鐵工業地バーミンガムなどの名は、世界に知られてゐる。羊毛工業はリーズが中心であり、造船業はグラスゴー・ニューカッスル等の港で盛んである。

しかし、その後世界の情勢が次第に變り、他の新興工業國が目ざましい躍進を遂げるに及んで、先進國を自負するイギリスの工業は、すでに昔の勢力を失つた。この國の最も誇りとした綿製品が、近年世界市場に於いて、わが國の製品との競争に敗れたことなどその適例である。

ロンドン

ロンドンその他

前にも述べたや



うに、地理的位置や國民生活の關係上、交通運輸の特に重要なこの國では、海陸の交通も航空交通もよく發達してをり、首府ロンドンはその中心となつてゐる。

ロンドンは、テムス川の下流に臨む世界的大貿易港で、接續市を合はせると、人口約八百六十萬に及び、港の設備や歴史的建築物など、さすがに大國の首府たる面目を保つてゐる。市の東部にあるグリニチ天文臺の位置は、

子午線の基點となつてゐる。

ロンドンの南西、イギリス海峡に臨むポーツマスは、この國第一の軍港である。リバプールは第二の貿易港で、背後に大工業地帯を控へ、南北アメリカとの取引が盛んである。

グラスゴーはイギリス第二の大都市で、スコットランドに於ける工業地帯の中心となつてゐる。その東のエジンバラは、昔のスコットランド王國の古都であり、學術の地としてもあらはれてゐる。

アングロサクソン族の國

住民の大部分はアングロサクソン族で、主としてイングランドに住み、ケルト族は、ウェールズやスコットランド及びアイルランドに住んでゐる。元來、この國に古くから住んでゐたのはケルト族であつたが、その後ヨーロッパ本土から、チュートン系のサクソン族や、アングル族などが侵入し、これらが統一さ

れてアングロサクソン族となり、それがこの國の支配者となつたのである。随つて同じイギリス人といつても、山がちなスコットランドの住民と、平野の多いイングランドの住民とは、單に自然からばかりでなく、民族的關係に於いて、その性情や風習にかなりの相違が認められる。

アイルランド島の住民に至つては、更に相違の甚だしいものがある。即ち、民族、宗教及び生活に於いて、アイルランドはイギリス本土と異なつてをり、随つてアイルランドは、長い間イギリスの壓迫を受けて來た。アイルランドの住民で、アメリカ大陸へ移住するものが多かつたのも、それがためである。その後も兩者は常に融和せず、今ではアイルランド北東部を除いた大部分が、エイレ國を建て、イギリスから獨立したかたちとなつてゐる。

アングロサクソン族を以つて代表されるイギリス人は、何事にも自尊心が強く、自ら最も優秀な民族を以つて任じ、又、自國のものが一番優れてゐるといふ考へ方から離れない國民である。一面非常に保守的な點もあるが、本來、利害打算の念に強く、自國の繁榮と利益のためには極めて積極的で、目的のためには敢へて手段を選ばない。しかも功を急がず、じつくりと腰をすゑて、着々と事を進めて行く堅忍の氣性をもつてゐることは、特に注意しなければならぬ點である。

かうした國民であるが故に、世界の隅々にまで領土を擴張し、これを植民地として専ら利益をあさつて來たのである。第一次歐洲大戰以來、米國の力が俄かに伸張すると見るや、専らこれと結んで、なほ在來の野望を逞しくしようとするのが英國であり、この國を今敵としてわが日本は戰つてゐるのである。

(六) フランス

フランスは、位置的にも氣候的にも恵まれた國である。ヨーロッパ本土に於ける交通の要地に當つてゐるばかりか、大西洋と地中海とを控へて、海運の便に富んでゐる。しかもこの國の川は、大抵流れが緩かで舟運に便である。

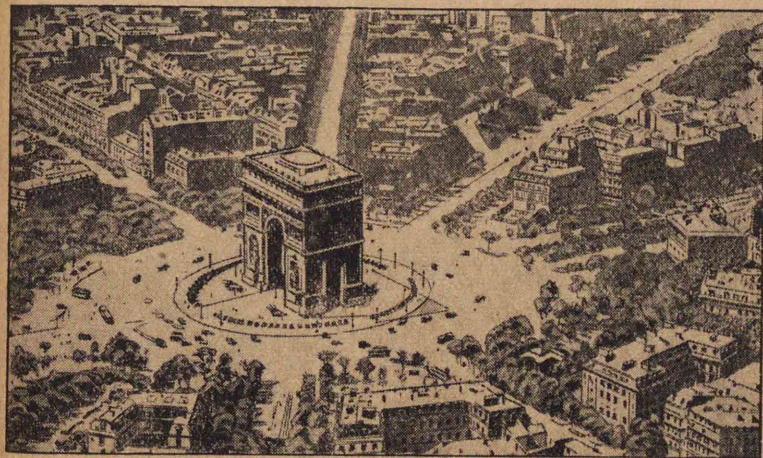
氣候は溫和で、雨量も適度であるが、南部は地中海性氣候を呈し、冬暖かである。

平野が廣く、耕地面積は國土の約四割を占めてゐる。氣候がよいので、農業は特に盛んであり、本來、農業國としての特色を發揮してゐる。小麥を始め、じゃがいも、甜菜等の産が多く、食糧は自給することができる。ぶだうは各地に栽培され、ぶだう酒は品質・産額

共に世界一である。南部の地中海方面は、オリーブ・レモン等の果物の栽培に適し、又、ローヌ川流域では養蠶業が行なはれ、絹織物を産出する。

国内には所々に鐵石炭の産地があり、殊にその産地の多い北部では、従来からの機業のほか、重工業や化學工業も發達してゐる。リールは北部の主な工業都市である。更にこの國は、古來優れた美術工藝品の製作に於いて著名であり、パリはその中心となつてゐる。

パリはセーヌ川にまたがる美しい



パリ

都市である。人口約三百萬、交通の要地に當つてゐるので、この國の主な鐵道はすべてこゝに集り、セーヌ川の水運もまたこれに加つて、商工業が榮えてゐる。パリは、いろ／＼の點で、この國の文化を代表した都市といふことができる。

ルアーブルはパリの門戸に當り、英米との取引が盛んである。ガロンヌ川下流のボルドーは、ぶどう酒の輸出港として名高く、地中海沿岸のマルセイユは、この國第一の貿易港である。又、ローヌ川中流に沿ふリヨンは、絹織物業地として知られてゐる。

この國の人口は約四千二百萬で、その大部分はラテン族である。この國は面積に於いて、わが國の約八割に當るが、人口はその半分にも達せず、しかも殆どその増加を見ない。むしろ減少の傾向さへ示してゐるのが、この國の大きな悩みである。國民は勤勉で貯

蓄心に富んでゐるが、ドイツ人やイギリス人ほど、進取的活動的でないうらみがある。獨創力が豊かで、藝術的才能に優れてゐる一面に、感情に走りやすい缺點が認められる。

第一次歐洲大戰後は一時、國威も揚つたが、今次の歐洲大戰にもろくもドイツ軍のために撃破され、その北半部はドイツの占領下にある。國の南半部は、フランスの残された地域として、パリイからビシーに移された政府がこれを治め、専らドイツに協力してゐる。

(七) イスパニヤ・ポルトガル

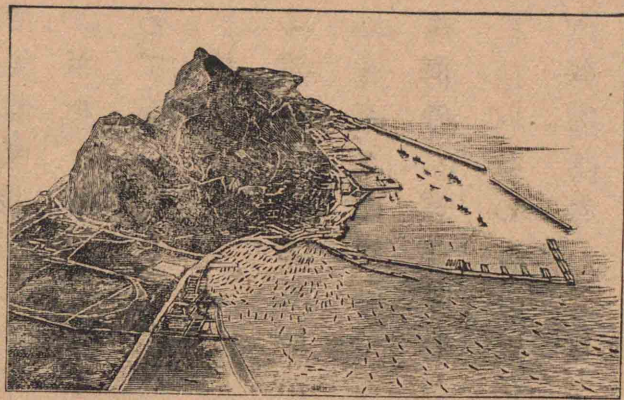
イスパニヤとポルトガルは、共にイベリヤ半島にある。イスパニヤは半島の大部分を占め、ポルトガルはその一部、大西洋沿岸を占めてゐる。

イベリヤ半島は、ヨーロッパでも最もアフリカに接近したところで、氣候・産業など北アフリカに似た點が少くない。しかも、北のピレネー山脈によつて、ヨーロッパの胴體からはつきりと區ぎられてをり、隨つてこの半島は、ヨーロッパでも特色のある一地域をなしてゐる。

半島内には山地が多く、全體として大きな高原狀をなし、川は概ね大西洋に注いでゐる。

北西部の沿岸地方は雨が多いが、内地の高原は雨が少くて乾燥し、しかも氣温の變化の著しい大陸性氣候を示してゐる。これらの自然條件から見ても、この半島はヨーロッパといふよりは、むしろ北アフリカに似てゐることがわかり、産業文化等に於いてもまた、同様の趣が見られる。

高原では一般に羊・山羊の牧畜が行なはれるが、温暖な海岸や河岸の低地では、灌漑によつて農業が発達し、小麦・たうもろこし・米等を産する。又、ぶどう・オリブ等がよく生育し、ぶどう酒・オリブ油、及びコルクがしから取れるコルクは、主な輸出品となつてゐる。



この半島は、礦物資源に富み、北部に鐵、南部に銅、水銀、鉛等が多い。しかし資本及び技術に乏しく、石炭の不足、交通の不便などが手傳つて工業は振るはず、鐵鑛その他は、多く鑛石のまゝ輸出される。

イスパニヤの首府マドリードは、高原の中央に位し、人口約百二

十萬、交通の要地に當つてをり、地中海沿岸のバルセロナはこの國第一の貿易港である。

ポルトガルの首府リスボンも天然の良港で、風景の美しいところである。

地中海の西の入口を扼するジブラルタルは、イギリスに屬し、その重要な海軍根據地となつてゐる。

イスパニヤ・ポルトガルの兩國は、かつてヨーロッパ諸國に率先して海外に發展し、廣大な植民地を獲得して一時大いに富強を誇つた。當時、わが國との間に種々の歴史的關係が見られる。しかし、兩國とも植民地の統治を誤り、今では植民地の大部分を失つて、國勢が振るはない。

(八) イタリヤ

イタリヤは、北にアルプスの天嶮を負ひ、南の方地中海へ長く突出した半島と、附近の島々とから成り立ち、面積・人口共にわが國の半分に足りない。

この國と中歐諸國との國境となつてゐるアルプスは、この國をおのづから中歐から切り離して、地中海地域としての特色を豊かにしてゐる。アルプスの西端から起るアペニン山脈は、半島を縦に通つてシチリヤ島に及び、更にその續きは北アフリカのアトラス山脈となつてゐる。この山脈に沿つて火山帯が通り、その中にベスピヤス・エトナ等の名高い火山がある。イタリヤは世界でも火山や地震の多い國の一つである。

半島部はよく地中海性氣候の特色を示し、青い空、強い日光に輝く南歐の明かるさに満ちてゐる。北部の平野は、氣候がやゝ大陸性であるが、雨に乏しくない。

北部のポー川流域であるロンバルジャ平野は、この國での主要な農業地である。小麥・たうもろこし・じゃがいも・甜菜・米等を産出し、又、養蠶も行なはれて、ヨーロッパでは主な米作地及び養蠶地となつてゐる。

半島部及び島では、オリーブ・オレング・いちぢく等の果樹園が到るところに見られる。ぶだうは國內各地に栽培され、ぶだう酒の産額は、フランスに次いで世界第二位にある。

鑛産物中、水銀や硫黄は世界でも一、二を争ふ産額があり、又、良質の大理石を産するが、石炭・鐵・石油等の重要鑛物に乏しいことは、この國の大きな弱點である。

近年、アルプス地方の豊富な水力を利用して、ミラノ・トリノ等、北

部の諸都市を中心に、繊維工業のほか、化学工業や重工業が興つてゐる。

首府ローマは半島の中央に位し、人口約百四十萬、昔の大ローマ帝國の首府であつたところで、當時をしのばせる壯大な遺跡に富んでゐる。又、市内にはローマ法王廳のあるバチカン市國がある。フィレンツェは古來、美術の中心としてあらはれ、有名な美術館がある。ベスビヤスの噴煙を仰ぐナポリ灣頭のナポリは商港であり、しかも風光の地として知られてゐる。ゼノアは、北部平野の門戸をなし、この國第一の貿易港である。アドリヤ海の奥にあるベネチヤは、古來、水の都と呼ばれ、昔榮えた港である。

この國はラテン族の本源地で、かつてヨーロッパ文化の中心をなしたところである。住民は、美術・音樂に長じ、熱情的である。第一

次歐洲大戰以後、産業交通軍備その他、各般の整備改善につとめたので、國勢は大いに揚つた。今次の歐洲大戰には、ドイツと提携して、北アフリカや地中海方面で米英軍と戦つて來たが、最近敵の謀略にかゝつて、國內の團結を失ひ、その隙に乗じて國土の一部が敵に攻略されるに至つた。

(九) バルカン諸國

バルカン半島は、地中海と黒海の間にある大きな半島で、アジアとヨーロッパとが相迫つてゐる地域に當つてゐる。

一般に山がちで、その間に小さな盆地や谷が分布し、出入のはげしい海岸には、多くの島が散在してゐる。かやうに地勢が複雑である上、古來、アジア・ヨーロッパの諸民族の交流した地域であるから、諸種の民族が割據し、それらの利害が相反して互に争ふ機會も多

く、又、一方この地域をめぐる強國間の勢力が常にからみ合つて、ために歐洲の騷亂をひき起すことが少くない。随つてこの地域は、特に國々の興亡變遷の激しいところである。

半島の南部にはギリシヤがあり、その北にブルガリヤ・ルーマニヤ・クロアチヤ等の國々がある。この地方では、農業や牧畜が主な産業で、中でもドナウ川流域の平野を中心に、小麥・たうもろこし等の産が多く、南部や附近の島々では、ぶどう・オリーブ・オレンジ等の果物がよく生育し、又、各地に煙草を産する。

農業に適しない傾斜地や荒地では、羊・山羊の飼育が廣く行なはれてゐる。

ロシヤを除けば、石油に恵まれないヨーロッパに於いて、ルーマニヤの油田は重要なものである。その他には著しい鑛産物がなく、殊に石炭・鐵に乏しいことは、バルカン地方に工業の發達しない原因の一つである。

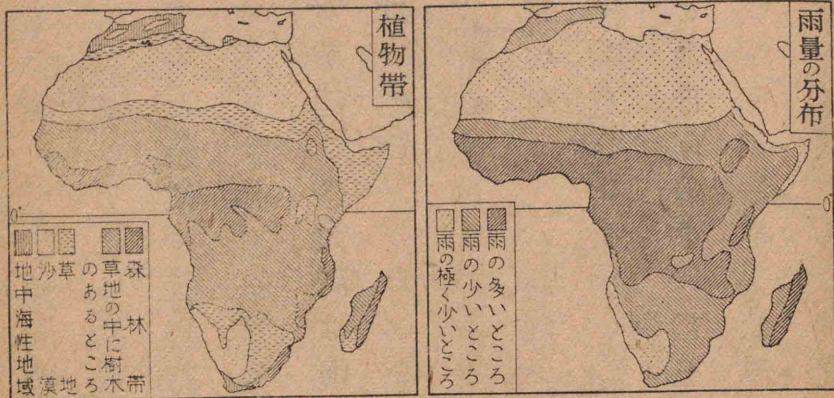
ギリシヤは、ヨーロッパ文化の源泉といはれる古代文化の榮えたところで、首府のアテネを始め、各地に古代の遺跡が分布してゐる。今次の歐洲大戰に當り、この國はドイツに敵對したため、直ちに攻略されて、今ドイツの支配下に置かれてゐる。この國の北部にあるサロニカは、バルカン地方の重要な門戸である。ブルガリヤの首府ソフィヤは、交通の要地に位してゐる。又、ルーマニヤの首府ブカレストは、ドナウ川下流平野の中心で、穀物の集散地である。

ヨーロッパの東端にあるイスタンブールは、歴史上名高いところで、黒海の關門をなし、水陸交通の要地に當つてゐる。

四 アフリカ

アフリカは、西アジアとインド洋によつて大東亞に接し、又、ヨーロッパと相對して地中海を抱く大陸である。地圖を見てもわかるやうに、この大陸は海岸線が極めて單調である上に、大陸の大部分に高原がひろがつてゐて、大平野を見ることはできない。海岸から急に高まつてゐるところが多く、随つて、川は所々に瀧を伴なつてゐる。

アフリカのちやうど眞中どころを、赤道が通つてゐる。そのため、北部・南部の一部分、及び高原中の高所を除く大部分が、熱帯性の氣候を呈する。北部と南部の高原地帯には、一年中雨の殆ど降らない地域があつて、北が名高いサハラ沙漠となり、南がカラハリ沙漠となつてゐる。



アフリカの雨量分布と植物帯との關係は興味深い。即ち、熱帯の密林は、高温多雨のギネヤ灣岸やコンゴ盆地にひろがつてゐる。そのまはりには、草地に所々樹木の散在する廣い地帯があり、これと沙漠との間には、草地帯がある。北西部と南端附近には、冬雨を見るいはゆる地中海性の氣候によつて、オリブ・オレンジ・レモン等のよく生育する地帯があり、ぶどうや小麦の栽培も行なはれる。アフリカには、獅子・きりん・縞馬・類人猿・河馬・駝鳥等の珍らしい動物が多く、それらの棲息

地は、それ〴〵植物帯に關係がある。

アフリカには、約一億六千萬の住民があつて、主に農業や牧畜狩獵などに従事してゐる。住民の大部分は黒人で、その中のネグロ族は主にサハラ沙漠以南に住み、その分布は廣い。別に近時、ヨーロッパから移住したものもあるが、その數は少い。しかもこの大陸の殆ど全部は、ヨーロッパ諸國の植民地である。地圖で見てもわかるやうに、この大陸はヨーロッパ各國で手當り次第に取つて、植民地にしたといつたかたちになつてゐる。中でも英國の植民地が目立つて廣く、フランスやイタリヤの植民地も、今日では英米の勢力下にあるもの



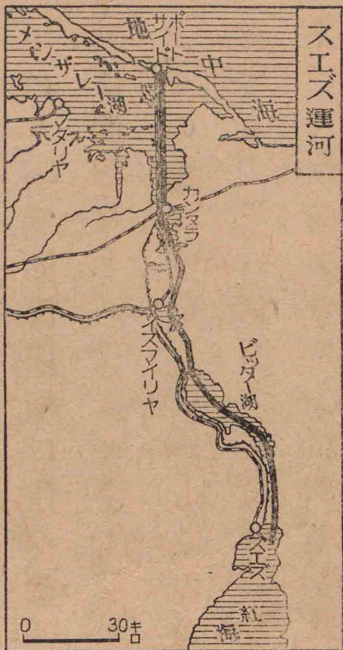
縞馬の群

のと見なければならぬ。

(一) スエズ運河・エジプト

スエズ運河

アジヤとアフリカが僅かに繋がつてゐる部分にあるのが、有名なスエズ運河である。



ある。

こゝに運河を作らうといふ計畫は、今から三千數百年も前から考へられたといはれてゐる。

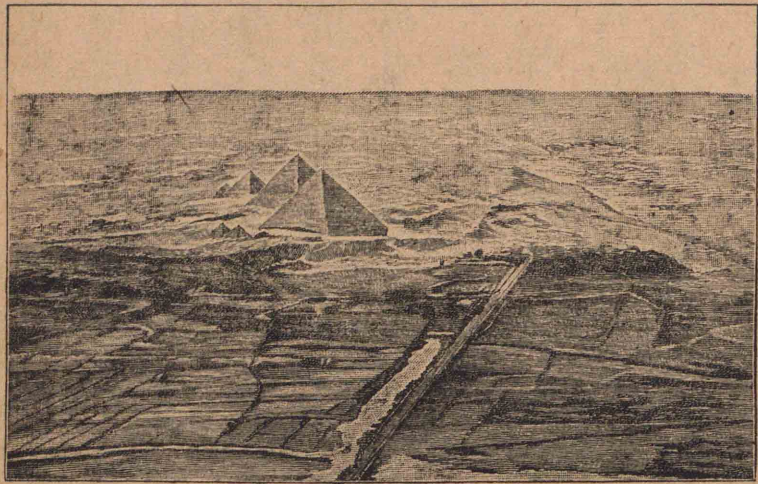
かつてフランスのナポレオンも技師に測量させたことがある。つたが、紅海と地中海との水面の高さがちがふといふので、工事の運びに至らなかつた。その後、これも同じフランスの人レセップが非常な苦心の末、遂にこゝに一大運河を切り開くことに成功し、明

治二年盛大な開通式が挙げられた。運河の北端ポートサイド港の一角には、かれの功勞を記念する銅像が立つてゐる。

この運河が世界の交通の上に、又、政治、軍事の上に及した影響は計り知られないものがある。今、わが横濱からドイツのハンブルグへ行くとするに、アフリカの南端、喜望峯を廻れば、一萬五千海里の航程であるが、スエズ運河を通れば、一萬一千海里に短縮される。そこでいち早くこの運河の重要性に注目したのがイギリスであり、完成後、間もなく運河經營の實權を握つてしまつた。アジヤに對するイギリスの壓力は、主としてこの運河を通じて行なはれて來たといつても過言ではないのである。

ナイル川のエジプト スエズ運河の西に續く一帶の地方がエジプトで、世界でも極めて古い文化の發達したところである。今で

ギゼー附近



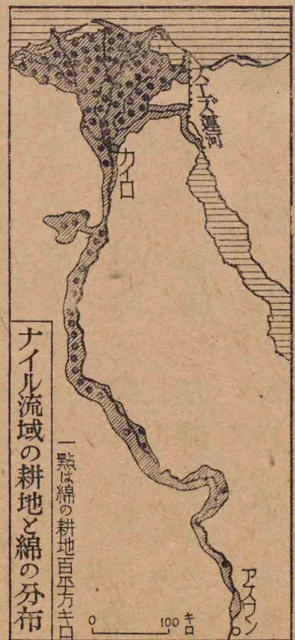
は獨立とは名ばかりで、全くイギリスの勢力下に置かれてゐるが、住民の大部分が回教徒であることは、注意すべきことである。

この國の中心地帯は、ナイル川の狭く長い谷の部分と、川口の三角洲に限られてゐる。エジプトでは、この川によつて太古から農業が興つた。それは、この川の上流、殊に青ナイル川の水源地方に當るエチオピア高原で、毎年夏、多量の雨が降つて下流を氾濫させ、この流域だけが肥沃な農業地となるからである。今で

は川の途中、アスワンに堰堤えんていを設けて灌漑の便に供し、年中水を引いて農業を営むことができるやうになつてゐる。

有名な綿の産地も、ナイル川の流域に限られてゐる。この國の綿は質がよく、戦前はわが國もこゝから盛んに買ひ入れてゐた。さたうきび、米、小麥、たうもろこし等の産地も、やはりナイル川流域である。

首府のカイロは、ナイル川の三角洲の頂點に當るところにあつて、人口約百三十萬、アフリカ第一の都市である。ナイル川を隔てたギゼー附近には、太古のエジプト文化を物語る、ピラミッドや、スフィンクスなどがある。アレキサンドリヤは、三角洲の北西端にある古くからの港市で、軍港としても名高い。



(二) 東アフリカ

エジプトの南に續く紅海の沿岸から、更に南、インド洋に面する一帯の地方が東アフリカで、大東亞から見、スエズやエジプトと共に、特に注目すべき地方である。

東アフリカは、アフリカ大陸中土地の最も高い部分で、その山地はナイル・コンゴなどの大河の水源をなし、細長い形の湖が幾つも南北に續き、火山も所々に噴出してゐる。中でも、キリマヌジャ火山は、高さ六千メートルをこえ、赤道附近にありながら、四時氷雪をいたゞいてゐる。

大部分熱帯にあるこの地方では、海岸から山地に登るに従ひ植物や農産物が異なり、その點、南アメリカのアンデス山地と似た趣

がある。海岸の諸港から奥地へ向かつて、開拓の鐵道が敷設されてゐる。住民は黒人のほか、海岸各地にインド人も住み、商業を始め、種々の方面に働いてゐる。

約二十年前から、わが國の汽船は、定期的にモンバサ・ザンジバル・ダルエスサラム・ベイラ等へ寄港して、盛んに貿易に従事した。

わが國の織物類・雜貨類等をこの地方へ送り、ウガンダの綿、紅海沿岸の鹽などを、わが國へもたらしてゐたのである。なほモンバサ附近では、戦前わが漁船も活躍してゐた。

マダガスカルは、モザンビク海峽を隔てて、東アフリカの南東にある大島である。インド洋中の重要地域であることは、すでに學んだところである。

この島の南東岸には、熱帯性の森林が繁茂してゐるが、西側には

高原がひろがり、雨も少く、農業・牧畜に適したところがある。島の東半部には、マライ系の住民が生活してゐる。

(三) 南アフリカ

南アフリカのインド洋に面するところには、割合高い山地があり、その北西部には、南東風の風下に當る一大高原がひろがつてゐる。

この高原地帯には、廣い草地があつて、羊の大牧場となり、又、小麦の栽培も行なはれてゐることなど、濠洲やアルゼンチンに似たところがある。

東部の海岸は、亞熱帯性で、ブラジルの東海岸に似て、さたうきびが栽培されてゐる。海岸から、内陸へは、いる鐵道が敷かれてゐることは、東アフリカとほぼ同様である。

ヨハネスブルグを中心とする金の産出は、世界第一であり、又、金剛石の産地として、昔からキンバリーは名高い。

この地方の住民は約一千万を數へ、原住民が大部分である。しかし、氣候がヨーロッパ人の居住に適するので、早くからオランダ人が移住し、その子孫ボーア人も、初めは南部に住んでゐたが、やがて後に來たイギリス人は、かれらを奥地へ追つて、南部の主要地に南阿聯邦を打ち建てた。さうして、こゝでもイギリスは、濠洲の場合と同じくアジャ人の移住を排斥してゐる。

プレトリアは、南阿聯邦の首府である。又、喜望峯に近いケープタウンは、この地方の表玄関ともいふべき要地を占め、大陸縦斷鐵道や航空路の基地にもなつてゐる。戦前、わが西アフリカ航路や南米航路の汽船は、必ずこゝへ寄港した。南アフリカの各港から

は、主として羊毛をわが國へもたらしてゐた。

(四) コンゴ盆地とギネヤ灣岸

コンゴ盆地及びギネヤ灣岸は、アフリカでも最も雨の多い地方で、廣く密林におほはれてゐる。殊に高温多濕のギネヤ灣岸は、特殊の風土病もあつて、ヨーロッパ人に恐れられてゐる。

コンゴ盆地のコブラ・ゴム、象牙、ギネヤ灣岸のココア・ゴム等は、この地方の特産物であり、鑛産物としてコンゴ盆地南部の銅、ギネヤ灣岸のマンガンなども、近時注目をひくやうになつた。

コンゴ川を船でさかのぼると、海岸から暫く行つたところに、瀧や急流などがあつて、その邊は鐵道の連絡があり、やがて盆地にはいると、再び船を利用して奥地へ進むのである。

ギネヤ灣岸には、奴隸海岸、黄金海岸、象牙海岸等の地名がある。

これらは、かつてこの地方から、歐米人が何を運び出してゐたかを物語るものである。西部にあるリベリヤは、黒人唯一の獨立國といはれてゐるが、その實、米國の勢力下に置かれてゐる。

(五) サハラ沙漠・バーバリ地方

サハラの大沙漠 東は紅海の沿岸から、西は大西洋の沿岸にまたがる大沙漠がサハラで、その廣大なことは世界に類がない。一般に四、五百メートルの臺地であるが、所々にある山脈は岩石が露出してゐる。又、砂丘が大波のうねりのやうに遠く連なるところもある。

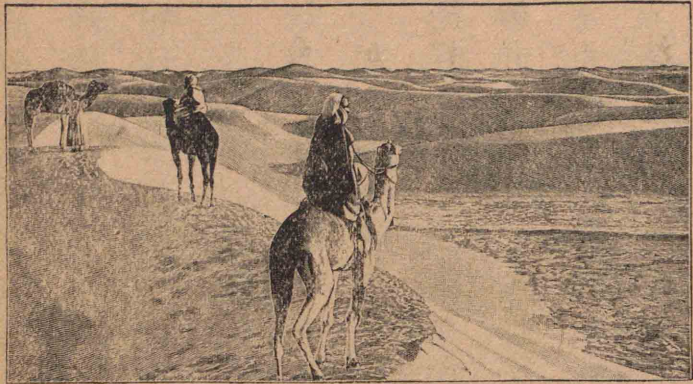
沙漠の中には、やしの茂る泉地があり、らくだの群を率ゐて、泉地から泉地をたどつて行く昔ながらの隊商も見られるが、近年は、沙漠を横ぎる自動車の交通も發達してゐる。この地方の大部分は、

これまでフランスの植民地として經營されたところで、フランス人は、荒地の一部を堀抜井戸を利用する灌漑によつて、耕地化することに成功してゐる。

地中海沿岸のバーバリ地方 サハラ沙漠の北に當る地中海沿岸の地方を、一般にバーバリ地方と呼んでゐる。

この地方はチュニジャ・アルゼリヤ・モロッコ等に分たれ、その位置が、アフリカでも最もヨーロッパに接近してゐるので早くから、イタリヤ・フランス・イスパニヤ等のヨーロッパ諸國と關係が深い。

東のチュニジャは、對岸にシチリヤ島を控へ



サハラ沙漠

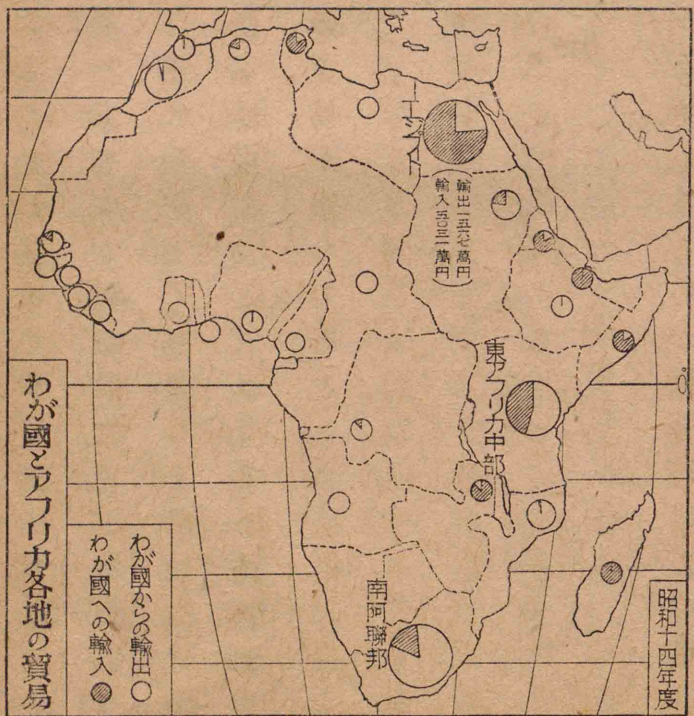
て、イタリヤに對する重要な位置に當り、西のモロッコは、その北端が狭いジブラルタル海峡を隔てて、イスパニヤに相對する要衝を占め、そこにタンジエル・セウタの二港がある。又、中央のアルゼリヤは、フランスの重要な植民地として開發されたところで、産業が發達し、アルジューはマルセーユとの貿易が盛んである。

住民はバーバリ人で、エジプトなどと同じく回教徒である。地勢からいふと、この地方の北西を東西にアトラス山脈が走つてゐるが、これはヨーロッパと連絡のある山脈である。

(六) わが國とアフリカ

インド洋を越え、スエズ運河を通過するわが歐洲航路の汽船は、常にスエズやポートサイドに寄港してゐたが、しかしこの航路によるわが國とアフリカとの關係は決して深いものではなかつた。

ところで第一次歐洲大戰以來、わがアフリカ航路の汽船が、この大陸の東岸や南岸の諸港に寄港するやうになつて、俄かに彼我の貿易が開け、年を追うて盛んになつた。わが國の綿布人絹布、雜貨の類は、大いにアフリカの住民に、歡迎され、又この大陸の綿羊毛等がわが國へもたらされた。最近では、アフリカ各地の港に、わが商船の姿を見、貿易關係では、むしろ南アメリカより一層深いものがあつた。



随つてアフリカは、南米と異なり、わが國人の移住こそ極めて少いが、わが商品の販路は、將來益、この地にひろまつて行くものと期待されてゐた。大東亞戦争と共に今一切は中止されてゐるが、インド洋の波に洗はれてゐるこの大陸は、決して大東亞から離れてはゐないのである。

五 大西洋兩極地方

(一) 大西洋

東はヨーロッパとアフリカによつて、西は北アメリカと南アメリカとによつて限られた大西洋は、太平洋に次ぐ大きな海洋である。しかし、その廣さは太平洋の約半分に過ぎず、特に太平洋に比べて東西の幅がどの部分に於いてもずっとせばまつてゐることは、この海の横斷に便利なゆゑである。コロンブスの航海以來、ヨーロッパと南北アメリカとの關係が深まるにつれ、ヨーロッパ諸國は競つてこの海に乗り出し、ために船の往來は年々盛んとなつて行つた。殊にアメリカ合衆國の急速な發展は、ヨーロッパとの連絡をいよく密接にし、大西洋は海上交通の大道として利用されるに至

つた。中でも北大西洋の航路は船の往來が最も頻繁であり、五萬トン・六萬トンの巨船が、僅か四日間で歐米間を連絡するのである。一方、航空機の發達に伴ひ、大西洋を横斷する定期航空路が幾本も開かれて、交通は更に便利を加へるやうになつた。

人口が多く、工業が盛んで、しかも食糧や原料などの不足するヨーロッパへ、大西洋を越えて、アメリカ大陸から多量の小麦・綿・石油・コーヒー・羊毛・肉類等が送られると同時に、ヨーロッパからは種々の工業品がアメリカの諸地方へ積み出される。又、アメリカ合衆國の工業品も、盛んにこの海によつて移動するのである。

パナマ運河の開通は、大西洋と太平洋を結びつける上に一時期を劃するもので、この運河の開通によつて、兩大洋の交通は俄かに活潑となつた。殊に第一次歐洲大戰後、太平洋の重要性が著しく

増大し、世界的活動の中心が大西洋から太平洋に移動する傾向があらはれるに従つて、パナマ運河の意義は、交通的にも軍事的にも一層重大となつた。

大西洋には、太平洋のやうに、廣く散在する島々は見られない。しかし北にはアイスランド島があつて、北歐とカナダとの間の飛石のやうな位置を占め、アフリカの北西岸附近には、ポルトガルやイスパニヤ領の島々が散在し、又アメリカ大陸側には、西インド諸島その他の島々がある。

かねてから、大西洋を自國の勢力下に置くことにつとめて來たアメリカ合衆國は、本國の大西洋岸から西インドの島々に向け、各地に海軍基地を設けて、この海に對する攻防兩面の備へを固めた。今次の歐洲大戰には、更に西インドの島々、その他、西大西洋に於け

るイギリス領の島々を獲得して、軍備を強化するとともに、アイスランド島に進駐し、又イギリスと結んで、北アフリカへ兵を送つてヨーロッパ本土をねらひ、ドイツとの間に激しい戦を展開してゐる。かくて今や大西洋は、太平洋と共に波荒く、戦雲がたちこめてゐるのである。

(二) 兩極地方

北極地方 北極を圍む地域が北極地方で、一帯は北極海をなし、一年の大部分は凍つてゐる。夏も厚い海氷が浮かび、ロシアはやつとシベリヤの岸に沿つて、ベーリング海へ抜ける航路を開いてゐるに過ぎない。

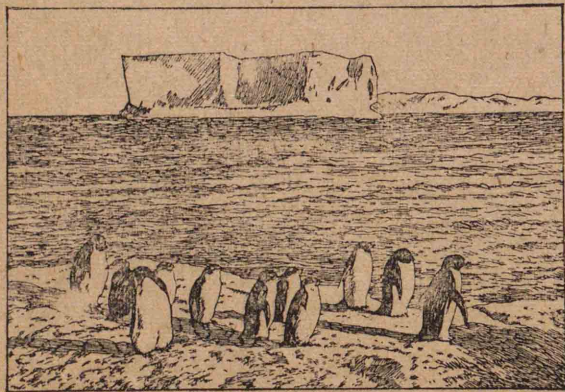
北極海を圍む陸地は寒さが厳しく、氷雪と氷河とに輝く景色が所々に展開して、偉觀を呈する。動物には、白熊、白狐あざらし、鯨な

どが見られる。一般に住民の住むには適しないが、グリーンランドの一部その他には、アジア人といはれるエスキモーが生活してゐる。この北極地方も、將來はその上空を航空機が飛び交ふことを豫想し得るのである。

冰山とペンギン鳥

南極地方 太平洋の南の果に南極地方が

ある。極地は、北極とちがつて、一面に厚い氷河でおほはれた一大高原である。ロス海の沿岸には、エレブスなどの活火山があつて、氷雪の中から噴煙をあげてゐる。植物は全く見られないが、海岸にはペンギン鳥が棲み、附近の海中には鯨の群が多い。夏季には、わが國及びノルウェー、イギリスなどの捕鯨船が、これまで活動してゐた。



明治四十四年十二月、ノルウェー人アムンゼンは、始めて南極に到達した。その頃、わが白瀬中尉も探検に出かけ、この地方の一部に大和雪原の名をとづめてゐる。

高等科地理上

定價金貳拾八錢

か

昭和十九年四月十七日 印刷
昭和十九年四月二十日 發行
昭和十九年六月十二日 翻刻發行

本卷挿入ノ寫眞・地圖ハ昭和十九年四月 陸軍省ト協議済
海軍省

著作權所有

著作兼
發行者

文 部 省

翻刻發行
兼印刷者
東京都王子區堀船町一丁目八百五十七番地
代表者 井 上 源 之 丞
東京書籍株式會社

印刷所
東京都王子區堀船町一丁目八百五十七番地
東京書籍株式會社工場



昭和十九年四月十二日
文部省檢査濟

發行所

東京書籍株式會社

廣島縣
宇長橋
高
佐伯郡
原村

広島大学図書

2000030343



木